

広島大学 財務報告書



Financial Report

2021



広島大学は2024年、開学75年を迎えます。最も古い前身学校の創立から数えると150年の節目となります。長期ビジョンである「SPLENDOR（Sustainable Peace Leader Enhancement by Nurturing Development of Research）PLAN 2017」を基に、「100年後にも世界で光り輝く大学」を目指し全力を挙げて大学改革に取り組んでおります。

東広島キャンパスでは2021年10月、イノベーション創出、内外の多様な人々との交流と知識の循環を目的とした「知の拠点」として「広島大学フェニックス国際センター ミライ クリエ」を開設しました。また、東千田キャンパスに「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」を、霞キャンパスに「医療人養成拠点」をそれぞれ整備し、教育研究機能の一層の強化を図ってまいります。

さらに、学内の温暖化ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」および高速通信規格「ローカル5G」のネットワークを基盤とした「スマートキャンパス」を、2030年までに実現することを宣言しました。地方創生の新たな産学官連携モデルを発信してまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大という未曾有の難局の下で、構成員の健康・安全の確保は最優先すべき事項です。2021年6月から、全国の大学の第一陣として学生・教職員に対するワクチンの職域接種を実施しました。また、地域の感染拡大防止に貢献するため、東広島市、東広島商工会議所と共同で、企業従業員らへの職域接種を実施しました。引き続き、学内外での感染拡大防止について、財源の確保、支援が急務となっています。

国立大学の財務状況が厳しさを増す中、第4期中期目標期間（2022～2027年度の6年間）においては、安定した財務基盤の構築が喫緊の課題であることは言を俟ちません。ネーミングライツ事業の推進、寄附講座の設置等による自己収入源の多元化とともに、競争的資金や寄附金等の外部資金獲得に注力していきます。

このたび、本学の財務状況に加え、理念・ビジョン、教育研究等の諸活動などを総合的にまとめた「広島大学財務報告書2021（Financial Report 2021）」を発行しました。広島大学を支えてくださるステークホルダーの皆様へ、本学の取組をご理解いただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

広島大学長 越智 光夫

- 05 基本理念、将来ビジョン
 - 05 広島大学基本理念
 - 06 SPLENDOR PLAN 2017
 - 07 SPLENDOR PLAN 2017実現に向けたプロセス

- 11 活動実績
 - 11 特集
 - 15 教育
 - 17 研究
 - 19 国際
 - 21 社会連携
 - 23 病院

- 25 数字で見る広島大学

- 29 ガバナンス
 - 29 広島大学のガバナンス体制
 - 30 研究費等の不正使用防止等に関する取組

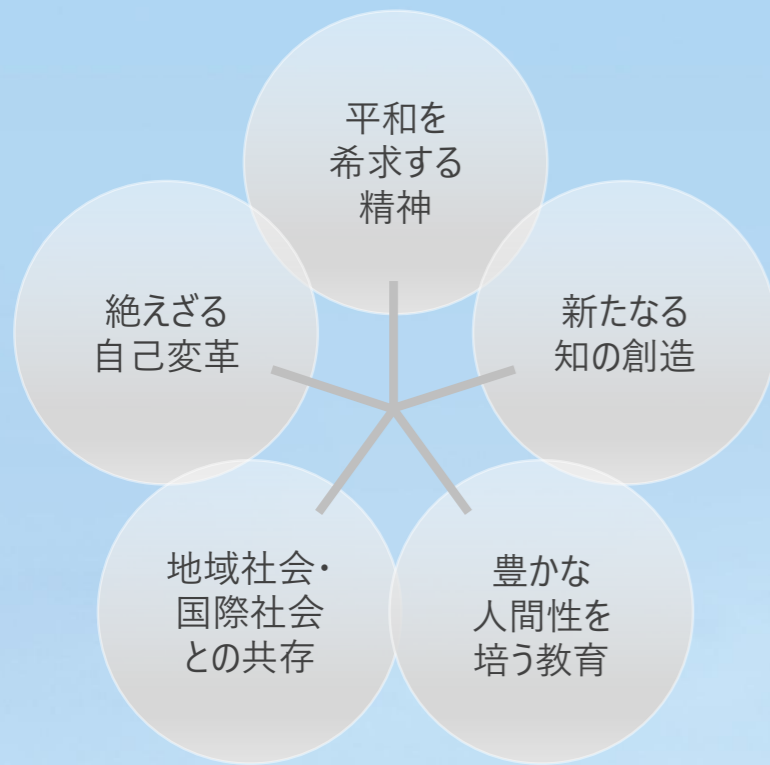
- 33 財務情報
 - 33 貸借対照表
 - 35 損益計算書
 - 37 財務指標
 - 39 国立大学法人の会計制度

- 41 広島大学基金

- 43 理事（財務・総務担当）メッセージ

本資料に記載している数値は単位未満四捨五入しています。
このため、合計と内訳が一致しない場合があります。

「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、
理念5原則の下に、国立大学としての使命を果たす。



100年後にも世界で光り輝く大学へ
University of World-wide Repute and Splendor for Years into the Future

2016年5月27日、オバマ米国大統領（当時）の被爆地広島への訪問がついに実現し、新たな世界平和の一步が踏み出された。一方、世界中で従来の規範意識が変化し、ポピュリズムが世界を席卷し、価値観が一層多様化している。今こそ、知の拠点である大学には、科学のパラダイム転換へのアクションが求められている。広島大学は、このような状況を重く受け止め、平和実現の責務を新たな大学の長期ビジョンに反映させることにした。

長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」は、2009年6月に策定した「広島大学の長期ビジョンー10年から15年後の広島大学像ー」をベースに、2016年に策定した「国立大学法人広島大学第3期中期目標・中期計画」を着実に履行し、研究大学（RU）、スーパーグローバル大学（SGU）としての目標をより高いレベルで達成することを約束するものである。そして、広島大学を取り巻く諸情勢の変化を謙虚にかつ客観的に俯瞰し、100年後にも世界で光り輝く大学であるための今後10年間のプランを表明する。

広島大学は、建学の精神「自由で平和な一つの大学」に則り、教育、研究、医療及び社会貢献の活動を通じて、多様性を育み自由で平和な国際社会の構築に貢献している。これまで以上に、人間、社会、文化、食料、環境、自然の持続性に関連する全ての既存の学問領域を包含し、平和の構築に限りなくチャレンジし、働きかける新しい平和科学の理念「持続可能な発展を導く科学」の創生を目指した活動を展開し、100年後にも世界で光り輝く大学としての責務を果たす。

広島大学のミッション（使命と役割）

新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し、多様性をはぐくむ
自由で平和な国際社会の実現

広島大学の全体コンセプト

「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的な教育研究拠点の構築

広島大学の目標

「持続可能な発展を導く科学」を実践する知の拠点としての総合研究大学

広島大学の3つのビジョン

- 研究 「持続可能な発展を導く科学」を支える基礎研究と先端研究の高度化
- 教育 変動する世界を俯瞰し、国際的にチャレンジする人財の輩出
- 社会貢献 地域と国際社会が協同して発展する社会連携の強化

本学は、「SPLENDOR PLAN 2017」の実現に向け、具体的な実行計画を作成し、着実に実施しています。
 このページは、国際統合報告評議会（IIRC）が公表している国際統合報告フレームワークにおける価値創造プロセスを参考に、本学がどのようにして『持続可能な発展を導く科学』を实践する知の拠点としての総合研究大学となるか、そのプロセスを、本学の活動を支える多様な形態の資本、具体的な工程を定めたフレーム「広島大学改革構想」、外部環境（社会的課題）、ステークホルダーとの関係性、教育研究等の活動とそのアウトプットに分けて見える化したものです。



100年後にも世界で光り輝く広島大学



財務資本	<ul style="list-style-type: none"> 総資産：2,050億円 経常収益：787億円 広島大学基金：28億円
製造資本	<ul style="list-style-type: none"> 土地総面積：3,138,318㎡ 建物延面積：666,032㎡ 大学病院病床数：746床
知的資本	<ul style="list-style-type: none"> 学部：12 研究科：4 附属学校園：11 附置研究所および研究施設等：28 図書館蔵書数：3,472,061冊 特許保有件数：948件
人的資本	<ul style="list-style-type: none"> 教員数：1,831人 学生・生徒・児童数：19,210人 職員数：1,724人
社会・関係資本	<ul style="list-style-type: none"> 立地：世界最初の被爆地である国際平和文化都市ヒロシマ 創立以来：146年（白鳥学校創立） 学部卒業生数累計：141,792人 学位授与数（博士）累計：12,979人 大学間国際交流協定：334機関370協定 海外拠点：15か国・地域22拠点
自然資本	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー投入量：849,295GJ コピー用紙投入量：152,779kg 水投入量：460,480㎥ <p style="text-align: right;">（2020年度の投入量）</p>

資本（インプット）は、2020年度期首の情報を記載。
 （2019年度実績、2020年5月1日現在の情報を含む。）

グローバル人材の育成

- 教育の質保証と向上
- 多様な人材の受入れ

研究力の強化

- 世界的研究拠点の継続的創出
- 研究推進体制・研究環境の整備

国際交流の推進と地域社会への貢献

- 海外拠点を活用した留学生の受け入れと派遣の充実
- 地域完結型医療の構築（関連病院ネットワークの完成）

教育力、研究力強化のためのガバナンスの強化

広島大学のミッション（使命と役割）

新しい平和科学の理念＝「持続可能な発展を導く科学」を確立し、多様性をはぐむ自由で平和な国際社会の実現

ガバナンス

教育 P15・16

研究 P17・18

国際 P19・20

社会連携 P21・22

病院 P23・24

基金 P41・42

アクター

平和を希求する精神を持ち、持続可能な社会の実現に向けてチャレンジする学生および研究者

P29・30

外部環境（社会的課題）

ポストコロナ・ウイズコロナ	SDGs	学生、保護者、受験生	国
グローバル化	少子高齢化	国民	地域住民
地方創生	AI	環境	国際社会
カーボンニュートラル	Society5.0	産業界	同窓生
		患者・医療機関	寄付者

主なステークホルダー

教育	<ul style="list-style-type: none"> 2研究科の新設 入学者数：3,898人 学部卒業生数：2,439人 学位(修士・博士)授与者数：1,596人
研究	<ul style="list-style-type: none"> SCI論文数：2,688報 国際共著論文数：943報 科研費獲得件数：1,811件 科研費獲得額：30.6億円
国際	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生数：2,744人 日本人学生海外派遣数：215人 外国人教員等数：845人 外国語による授業科目：6,328科目
社会連携	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究受入件数：501件 共同研究受入額：14.4億円 共同研究講座数：27件 特許保有件数：921件
病院	<ul style="list-style-type: none"> 外来患者延数：521,705人 入院患者延数：224,121人 手術件数：8,135件 病床稼働率：82.5%
基金	<ul style="list-style-type: none"> 学生支援事業：8,631万円 国際交流事業：830万円 研究支援事業：2,628万円 運営支援事業：2,167万円

「持続可能な発展を導く科学」を实践する知の拠点としての総合研究大学

「持続可能な発展を導く科学」を支える基礎研究と先端研究の高度化

変動する世界を俯瞰し、国際的にチャレンジする人材の輩出

地域と国際社会が協同して発展する社会連携の強化

国立大学初の脱炭素キャンパスを目指して カーボンニュートラル×スマートキャンパス5.0宣言

広島大学は、『自由で平和な一つの大学』という建学の精神のもと、グローバル展開と地方創生の好循環により、「持続可能な発展を導く科学」の実践を目指しています。SDGsやSociety5.0の実現に向けて、米国アリゾナ州立大学や地域の自治体との連携を進め、国際展開を見据えた取組を進めています。

本学は、2021年1月に東広島市および住友商事株式会社との東広島市および周辺地域におけるSociety5.0やスマートシティの実現に関する包括連携協定の締結にあわせ、2030年を目標とする「カーボンニュートラル×スマートキャンパス5.0宣言」を行いました。

また、2021年7月には、東広島市および株式会社フジタ並びに東広島市およびソフトバンク株式会社とSociety5.0やスマートシティの実現に関する包括連携協定を締結しました。

2050年カーボンニュートラルに向けて、グリーン社会の実現のための最先端技術の開発や実用化、先行的な脱炭素地域の創出などが求められています。世界に先駆けての脱炭素社会の実現を目指し、研究・教育、国際展開をはじめ本学の姿勢をこの機会に明確にすることで、自治体や企業の皆様を巻き込みながら世界の中で本学の価値を高めていきたいと考えています。

Town & Gown Office

Town & Gown Office 準備室 HP
<https://tgo.hiroshima-u.ac.jp/>



Town & Gown Office (タウン・アンド・ガウンオフィス) とは

欧米の大学立地都市で導入されている組織で、Town (まち) とGown (大学) が一体となったまちづくりや、地域におけるSDGsの達成に向けた課題の解決を目指すため、まちと大学のハブとなって連携を促進する組織です。

東広島市はさまざまな行政データや課題を、本学は最新の学術知見や研究力を提供し、Town & Gown Officeを通して二人三脚で社会的な課題の解決に取り組みます。

そして、最先端の技術を取り入れながら新たなイノベーションを起こし、世界から起業家や研究者たちが集まる持続的なまちづくりを目指します。



カーボンニュートラル×スマートキャンパスの推進

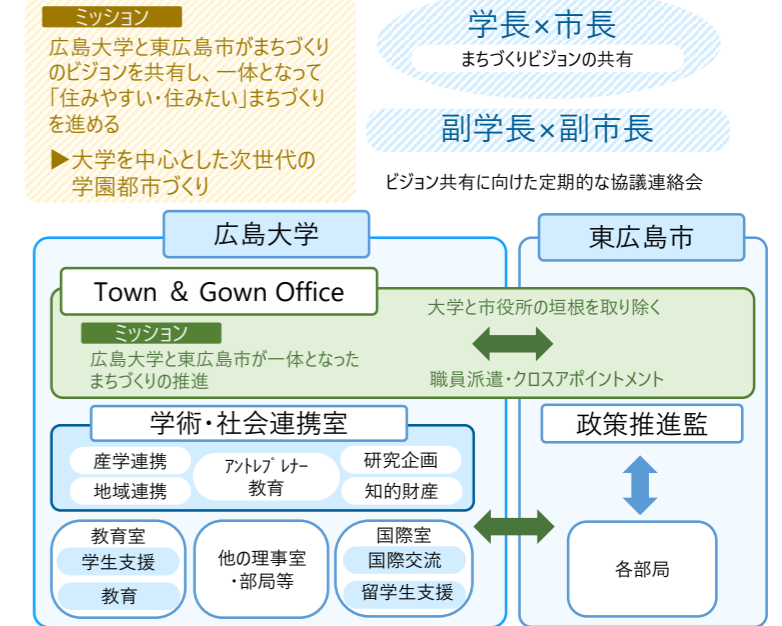
本学は「持続可能な発展を導く科学」の実践を目指しており、SDGsやSociety5.0の実現に向けてグローバル展開と地方創生の好循環を加速させる取組を進めています。

東広島市はAIやビッグデータなどの最新技術を活用し、企業や大学と連携し「やさしい未来都市」の実現を目指しています。また、2020年7月に、内閣府が実施する「SDGs未来都市」に選定されました。

Town & Gown Office のミッションである「広島大学と東広島市が一体となったまちづくりの推進」の大きな柱となるのが「カーボンニュートラル」と「スマートキャンパス」です。

広島大学と東広島市はTown & Gown Officeを通してこうしたビジョンを共有し、一体となってまちづくりを推進します。

Town & Gown Office の推進体制



自動運転車で小売りMaaSを実現する「Autono-MaaS」の実用化に向けたプロジェクト

本学と、東広島市、株式会社イズミ、およびMONET Technologiesは、スーパーマーケットなどと連携した小売りMaaSを自動運転車で実現する「Autono-MaaS (オートノマース) ※」の実用化に向けたプロジェクトに取り組んでいます。

このプロジェクトは、「SDGs未来都市」に選定された東広島市が目指す、住み続けられるまちづくりの推進と、自動運転時代を見据えた国際学術研究都市の実現に向けて実施するもので、産学官で組成する「東広島市Autono-MaaS推進コンソーシアム」が実施します。まずは本学の学生および教職員や近隣住民を対象に、西条町下見および西条下見地区を中心としたエリアにおいて、段階的に取り組みます。

本学東広島キャンパス内では、2021年3月から自動運転実証実験を行っています。使用する車両は、May Mobility社の自動運転車両(乗客定員4人) 2台です。キャンパス内に設ける8か所の停留所で乗降できます。

※Autonomous Vehicle (自動運転車) とMaaSを融合させた、自動運転車を利用したモビリティサービスを示すトヨタ自動車株式会社による造語



(自動運転車両。愛称は投票により「HIROMOBI」に決定)

宣言達成に向けたロードマップ



電動キックボード、
New Mobility 実証導入開始

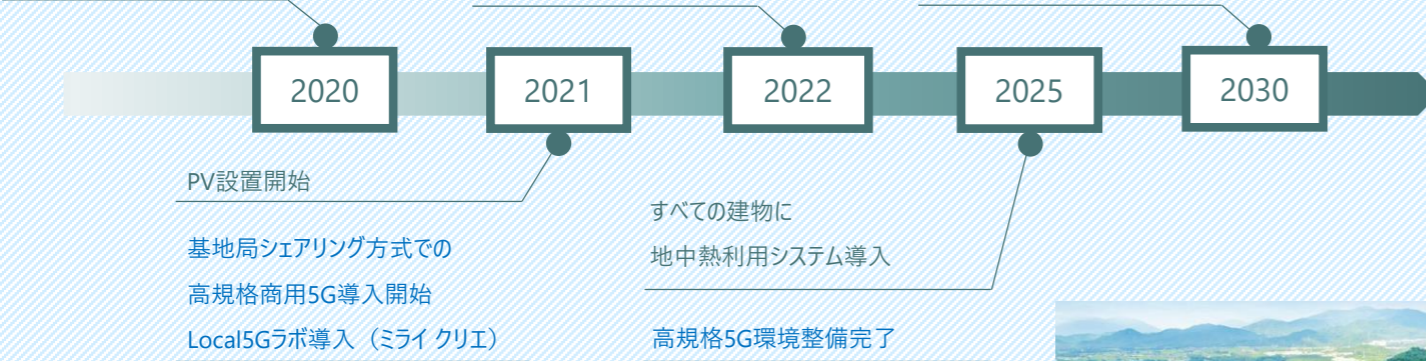


すべての屋上、駐車場に
PV設置完了

カーボンニュートラル スマートキャンパス5.0

カーボンリサイクルシステム稼働
カーボンニュートラル達成

Society5.0の実装
(人、モノ、金の流れについて
仮想空間と実空間を同期)



広島大学と新型コロナウイルス

新型コロナウイルス感染症が世界的に急拡大した2020年、広島大学は学生の学びと生活を第一に考え、さまざまな取組を展開してきました。学生の皆さんが安心して大学生活を送れるよう、これからも力を尽くしていきます。

また、地域とともにある国立大学の使命として、新型コロナウイルスに関しても最先端の研究成果を社会に発信し続けるとともに、国の医療に貢献するなど社会にも貢献していきます。

学生の学びと生活を支える広大モデル

■ 広大独自のハイブリッド型授業

他大学に先駆けて2020年度第1タームからオンライン授業を導入しました。

2021年度は科目の特性やコロナ禍の動向に応じて、対面・オンライン双方の利点を生かした授業を提供し、「学びを止めない」を合言葉に全学的な取組を行っています。対面かオンラインかの二者択一ではなく、それぞれの良さを生かし、教育効果の高い授業を目指します。

また、安全に学べるキャンパスを目指し、対面授業を行う講義室では、窓の開放や間隔を空けた着席、不織布マスク着用など、さまざまな感染防止対策を実施しています。



学生に安心して学んでもらうためのさまざまな取組

Wi-Fiルーターを学生に貸し出し

オンライン授業の受講のため、自宅等にネットワーク環境がない学生に対して、無償のモバイルWi-Fiルーターを貸し出しています。



QRコードで入退室管理

オンライン授業や自習、食事等で講義室を利用する際に入退室記録を取っています。この記録は感染者が確認された場合にのみ使用します。



■ 応急学生支援金制度

アルバイトなどの収入が激減し、生活に困窮した学生・留学生を対象に、1カ月3万円を給付する本学独自の制度です。国などの支援制度に先駆けて募集を開始し、これまでに1,389件の給付を実施しました(2021年9月30日現在)。

困窮が続く場合は何度でも申請が可能で、複数回受給した学生もいます。

新型コロナウイルスの影響による家計急変への経済支援

- 応急学生支援金〈日本人学生・留学生対象〉
- 広島大学授業料免除(家計急変)〈日本人大学院生対象〉
- 高等教育の修学支援新制度(家計急変)〈日本人等学部生対象〉
- 授業料納付期限の延長〈全学生対象〉



■ 地元スーパーと応急生活物資の配達協力協定を締結

広島市に本社を置きスーパーマーケットチェーンを展開する株式会社イズミと協定を締結し、自宅待機を要する学生や教職員に、最寄りの店舗から食料などの応急生活物資が配達されることになりました。国立大学初の取組で、コロナ禍における生活支援のモデルケースとして注目されています。

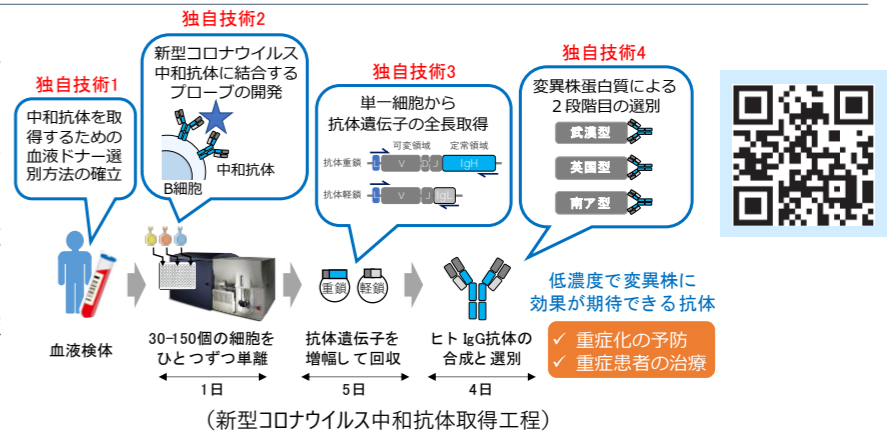


(協定書を交わす越智光夫学長(左)とイズミ山西泰明代表取締役社長(右))

新型コロナウイルスに関する研究

■ 新型コロナウイルス変異株を無力化する中和抗体を10日で作成する技術を開発

大学院医系科学研究科免疫学の保田朋波流教授らの共同研究グループが、複数種類の新型コロナウイルス変異株に結合してウイルスを無力化する完全ヒト抗体を10日間で人工的に作り出す技術を開発しました。抗体を保有する患者の特徴を明らかにし、作業工程を工夫することで、数名の患者から高性能な中和抗体を10日間で取得できるようになりました。多重変異株にも結合する中和抗体の取得にも国内で初めて成功しました。



■ 波長222nm紫外線が新型コロナウイルスの不活化に効果

広島大学病院感染症科の北川浩樹診療講師らの研究グループは、紫外線照射装置(ウシオ電機株式会社製)を用いて、中心波長222nm紫外線による新型コロナウイルスの不活化効果を世界に先駆けて明らかにしました。

プラスチック上の新型コロナウイルスに30秒間照射すると99.7%が不活化。この波長の紫外線は、人体に安全とされており、コロナ感染対策への活用が期待されます。



(記者会見を行う大毛宏喜教授(左)、北川診療講師(右))

新型コロナワクチン接種

■ 新型コロナワクチンの「職域接種」

広島大学と東広島市、東広島商工会議所は、同市内の企業の従業員および市立小中学校の教職員を対象としたワクチンの職域接種を共同で実施しました。接種者数は以下のとおりです。

- ・本学学生 約10,800人(接種率 75.3%)
 - ・本学教職員 約2,200人(接種率 86.6%)
 - ・同居家族等 約7,400人
 - ・市内の企業の従業員 約16,600人
 - ・市立小中学校の教職員 約2,000人
- ※人数は2回接種者数
※医療従事者枠での接種を除く



(接種会場全景-東広島キャンパス)

■ 新型コロナワクチン大規模接種への協力

広島大学病院は6月から、高齢者を対象に実施した広島市および広島県の新型コロナワクチン大規模接種に協力し、所属する医師、歯科医師、薬剤師、看護師、事務職員を派遣しました。

広島大学は国立大学の使命として、コロナ禍により危機的な状況に陥っている国の医療に貢献するため、今後も率先した取組を行っています。



(歯科医師による新型コロナワクチン接種のための研修会の様子)



■ 「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」、「医療人養成拠点」を整備

広島大学創立75周年記念事業構想として2019年5月に策定した「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金～広島大学の取組構想～」で掲げている東千田キャンパスと霞キャンパス（共に広島市）の整備を開始しました。

本学発祥の地である東千田キャンパスを「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として整備します。同キャンパスに新棟を建設し、法学部と大学院人間社会科学研究科の法学・政治学プログラムを東広島キャンパスから移転します。また、霞キャンパスは「医療人養成拠点」として整備し、東千田キャンパスで行っていた医療系学生の教養教育を行うための新棟を建設します。

法学部移転後の東広島キャンパスの建物については、グローバルキャンパスの実現に活用します。

本学は3年後の2024年に創立75周年を迎えます。東千田キャンパス・東広島キャンパス・霞キャンパスを整備・活用し、地域の活性化をけん引していく取組を着実に進めます。



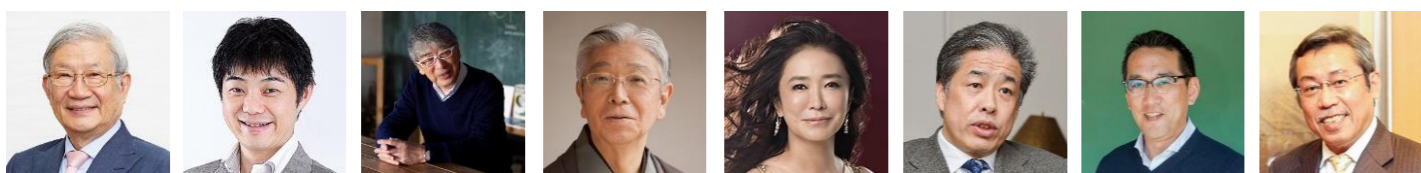
東千田キャンパス 法曹養成を核とした人文社会科学系拠点整備事業 建物外観イメージ（6階建て2023年4月共用（授業開始）予定）



霞キャンパス 医療人養成拠点整備事業 建物外観イメージ（5階建て2022年12月共用（授業開始）予定）

■ 教養教育「世界に羽ばたく。教養の力」

本学では、大学で専門的な分野の学識を深めると同時に、幅広い教養、すなわちリベラル・アーツを生涯にわたって培っていくことが何より大切と考えており、教養教育の一環として、スポーツ、芸術、科学、ビジネスなど各界で活躍されているリーダーをお招きし、ご自身の学生時代や、困難を乗り越えた経験などを語っていただく特別講演を実施しています。同講演は、全学部必修科目「大学教育入門」の中で学部新入生を対象として実施しており、学生らが入学直後に大学生活の目標や将来の夢を考える機会となっています。



©藤塚 光政

- 五百旗頭 真氏
政治学者・歴史学者
兵庫県立大学理事長
- 池谷 裕二氏
東京大学大学院
薬学系研究科教授
- 伊東 豊雄氏
建築家
- 上田 宗尚氏
茶道・上田宗箇流家元
(オンデマンド)
- 中丸 三千緒氏
オペラ歌手
(オンデマンド)
- 二宮 清純氏
スポーツ
スチャナリスト
- 野村 謙二郎氏
野球評論家・広島
東洋カープ元監督
- 弘兼 憲史氏
漫画家

<2021年度にご講演いただいた講師の方々（左から五十音順）、所属・役職名等は2021年4月1日現在>



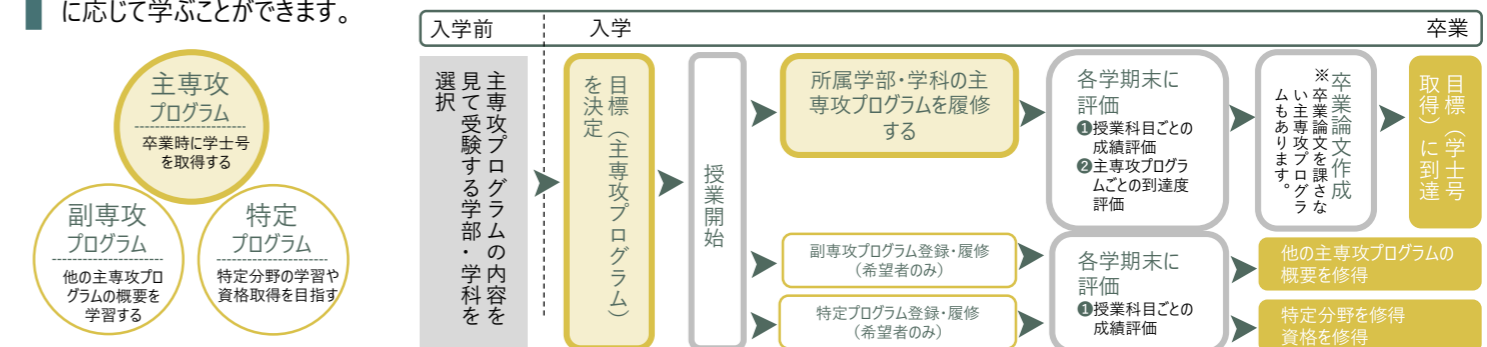
■ 本学独自の教育システム「到達目標型教育プログラム」HiPROSPECTS® ※HiPROSPECTSは広島大学の登録商標です。

興味・関心に合わせて学べる3つのプログラムで編成

入学した学部・学科の「主専攻プログラム」、他の主専攻プログラムの概要を学ぶ「副専攻プログラム」、特定分野の学習や資格取得を目指す「特定プログラム」を組み合わせ、自らの興味・関心に応じて学ぶことができます。

それぞれのプログラムで到達すべき目標が見える

プログラムごとに卒業までに身につけておくべき知識や能力を到達目標として学生に明示し、定期的な到達度を確認します。目標を見据え、一人一人が着実に力をつけることができます。



■ 大学院共通科目

広い視野と社会への関心や問題意識を涵養し、それぞれの専門分野が「持続可能な発展を導く科学」としてどのような貢献が可能であるかの考察を深めるために、さらに、最近の社会システムの進展を正しく把握し、現代社会で活躍するための基本的な知識を身につけるために「大学院共通科目」を提供しています。なお、すべての研究科において選択必修としており、「持続可能な発展科目」「キャリア開発・データリテラシー科目」から各1単位以上修得する必要があります。

■ 経済サポート

高等教育の修学支援新制度

2020年4月から、高等教育修学支援制度が始まり、本学もこの制度の対象校となっています。

この制度は、世帯の所得に基づく区分や通学区分、学業成績に応じて、入学料・授業料の減免および給付型奨学金を受けることができます。

独自の給付型奨学制度

人物および学力が優秀でありながら、経済的理由により大学進学が困難な人や経済的に困窮している在学生を支援するため、広島大学基金からの援助により独自の奨学制度を設けています。

広島大学学生情報の森 経済支援HP
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/life/keizaishien/financial.html>



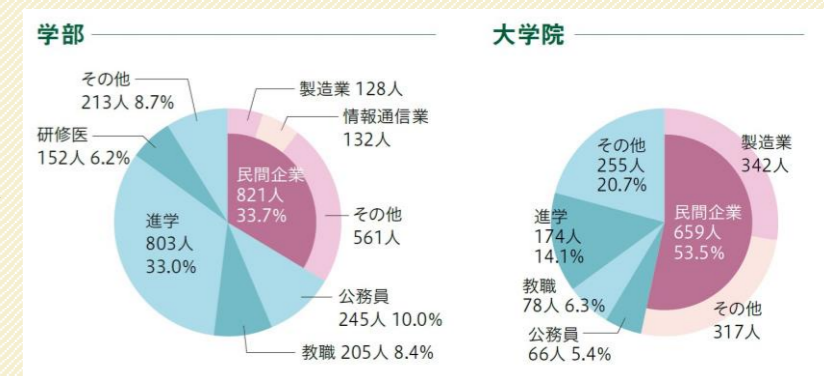
数字で見る教育

■ 就職状況（2020年度 学部就職者1,271人／大学院※就職者803人）

※修士課程、博士課程前期修了者

【主な就職先】

- 学部
 広島銀行、マツダ、東京海上日動火災保険、NECソリューションイノベータ、西日本電信電話、コトリ、日本生命保険、マイクロメモリジャパン、オービック、楽天、エヌ・ティ・ティ・ドコモ、広島県、広島市、厚生労働省広島労働局、国税庁広島国税局、広島県教育委員会、広島市教育委員会、福岡県教育委員会
- 大学院
 マイクロメモリジャパン、マツダ、中国電力、西日本電信電話、中国電力ネットワーク、パナソニック、東ソー、ダイキン工業、日立製作所、三菱電機、クボタ、京セラ、TOTO、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会





■ 広島大学の研究者を探せる！新システム「研究者ガイドブック」の始動

2021年7月1日より、新しい研究者検索システムの運用を開始し、ホームページで公開しています。本学に所属する研究者約1,900人の専門分野や研究業績を、「ジャンル」・「SDGs」・「領域」・「50音順」からお探しいただけます。検索ボックスによる、キーワード検索も可能です。



ジャンルから探す
"社会と暮らし"や"平和問題"など、一般の方にも分かりやすいジャンルから検索できます

SDGsから探す
SDGs17の目標から検索できます

領域から探す
本学の専門領域と教育プログラムから検索できます

50音順から探す
氏名による50音順検索ができます



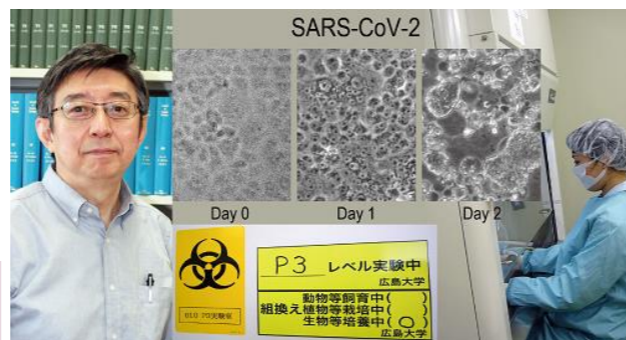
(SDGsから探す 検索画面)

社会に対する情報発信機能を強化するために、メディアの方と研究者を結ぶだけでなく、分野を超えた研究者間の連携やアプローチを育むインターフェースを目指します。企業や保護者、高校生の皆さまにも、広くご活用いただけます。



■ 新型コロナウイルス対策に係る研究

本学では、昨今の新型コロナウイルス感染症に立ち向かうべくさまざまな研究に取り組んでいます。医学・歯学・薬学・保健学の医療系の研究室が一丸となって（名称：広島大学CoVピースプロジェクト）、PCR検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化など、多方面のプロジェクトを進めています。ウイルス学研究室は、その中心としてP3高度封じ込め実験施設での新型コロナウイルス培養実験を行っています。



(大学院医系科学研究科 坂口教授)

新型コロナウイルス対策に係る研究成果HP
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/covid19>



■ 博士課程の学生の処遇向上とキャリアパス支援^(※1)

本学は、2021年に文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業」の実施機関として採択され、同年度から「広島大学大学院リサーチフェロシップ制度」を開始しました。情報・AI、量子、マテリアル、サステナビリティ学の分野に入学する1年次の優秀な博士課程の学生計53人を上限に「リサーチフェロ」として認定し、毎年度、生活費相当の研究専念支援金と研究費を支援します。

さらに、2021年に科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の実施機関として採択され、同年度から「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」を開始しました。1年次から4年次までの博士課程の学生計199人を上限に「次世代フェロ」として認定し、毎年度、研究専念支援金と研究費を支援します。

両制度とも、毎年、支援学生の公募を4月入学と10月入学向けに実施し、研究力向上、キャリア開発・育成に係るさまざまな取組を実施する予定です。



「リサーチフェロ」は認定された年度以降、3年間を上限、「次世代フェロ」は4年間を上限^(※2)として、毎年、以下のとおり支給します。

- ・生活費相当の研究専念支援金として、月額15万円、年額180万円
- ・研究費として、年額30～70万円

※1・・・博士課程後期学生、4年制の博士課程の学生を含む
※2・・・上限の4年間は、4年制の博士課程の学生の場合のみ

■ 科学研究費助成事業の獲得

本学は、科学研究費助成事業への積極的な申請により、科学研究費補助金および学術研究助成基金助成金について、2020年度は採択総数1,220件、金額合計2,840,071,000円（直接経費および間接経費の合計）を獲得しており、採択件数は全国の国公立大学の中で9番目に多い件数となっています。

更なる採択数の増加に向け、科学研究費助成事業採択経験者による助言制度、ステップアップ支援制度の導入、不採択者への研究費支援、URAによるブラッシュアップ支援等の取組を行っています。

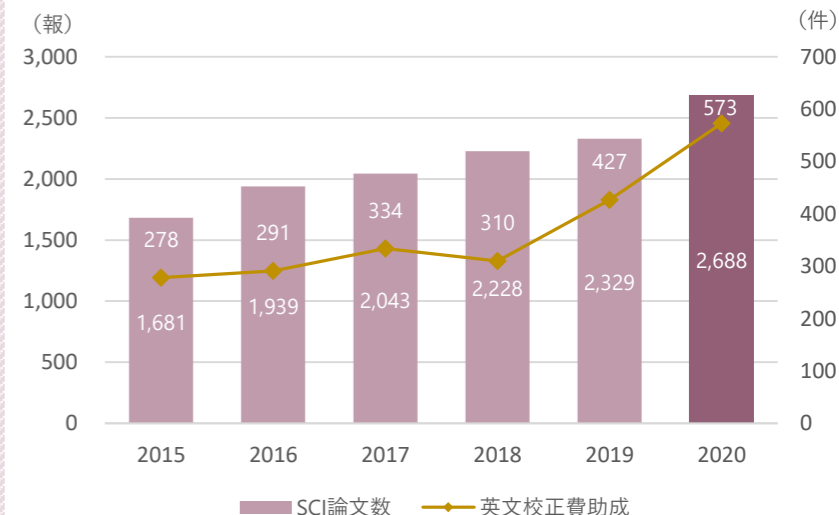


数字で見る研究

本学では、論文の被引用数向上につながるIF（インパクトファクター）の高い雑誌への投稿を目指す取組として、英文校正費の助成を実施しており、SCI論文数は着実に増加しています。

SCIとは、米国トムソン・ロイター社が運営している、科学技術分野の学術データベースです。SCIにカバーされている雑誌に掲載された論文（SCI論文）は、国際論文として評価される傾向にあります。

SCI論文数と英文校正費助成件数の推移





■ アフリカ諸国との教育学術交流の推進

2019年8月に横浜で開催された第7回アフリカ開発会議（TICAD7）において、日本は成長著しいアフリカ諸国の開発を官民一体となって協力していくことを表明しました。本学はこれまで国際協分分野を中心にアフリカからの留学生の積極的な受入れ、また、JICA青年海外協力隊と連携した修士学位プログラム（ザンビア特別教育プログラム）等を通じたアフリカへの学生派遣も行ってきており、このような実績を基盤として、文部科学省の2020年度「大学の世界展開力強化事業（アフリカ諸国との大学間交流形成支援）」に採択されました。

本事業では、アフリカの人材育成ニーズが高く、質の高い成長の基盤的分野である教育、保健医療、食料安全保障分野を中心に、北アフリカ地域とサブサハラ地域の大学との共同でトライアングル海外学習プログラムを実施しています。

また、本学は、エジプトの大統領プロジェクトとして開学して間もないガララ大学に対して積極的に教育協力を行うことに合意しました。今後、同大学の工学、歯学および日本語教育の各分野において、カリキュラム編成への協力、オンラインや現地での授業提供等、教育への協力を行っていきます。



(エジプト エルシーシ大統領と会談)



(ガララ大学との教育協力に関する合意書締結式)

■ 多様な海外留学プログラム

入門的な海外研修から英語で専門的な内容を学ぶ本格的な長期留学まで、渡航期間・内容の異なる多様な海外留学プログラムを実施しています。学生の英語力や目的にあわせた留学プログラムを選ぶことで、グローバル人材に必要な知識やスキルを段階的に身につけることができます。

教養教育科目「海外派遣・留学入門」で留学に向けた事前準備をします。

STEP1 オンライン
e-START型プログラム
海外の学生とのオンラインツールを使用した協働作業や交流のあり方を学びます。

STEP2 導入
START型プログラム
(8日間～1カ月程度)
実際に海外へ渡航し、日本と異なる文化・環境を経験します。

STEP3 交換留学
HUSA型プログラム
(2カ月～1年間)
世界各国の留学先で現地の学生と同じ授業を受講し、語学力の向上や専門知識の習得を目指します。
各プログラムの詳細は、広島大学留学ガイドブック『海外留学のスズメ』をご覧ください。
<https://momiji.hiroshima-u.ac.jp/momiji-top/learning/ryugakunosusume.html>

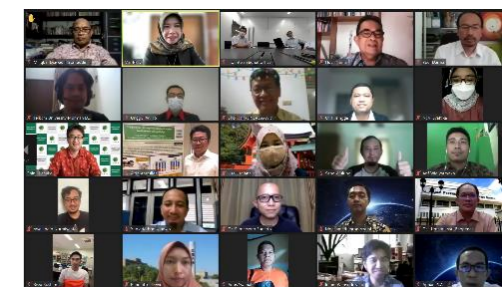
STEP4 研究留学 インターン
HU-GRIP、G.ecbo型プログラム
(1カ月以上)
国際社会で活躍できる実践的研究者や高度専門職業人を目指し、現地で研究やインターンシップに参加します。

■ 海外拠点の重点整備

本学は、15か国・地域に23の海外拠点を設置しています。今後、これらの拠点を活用してグローバルなコミュニティを構築するために、アジア、北米、その他の地域において、海外拠点を重点整備してハブ拠点を3か所設置する予定です。これにより、世界で活躍する卒業生を含むステークホルダーとの産学官民の連携・協働を図り、グローバルコミュニティの構築につなげるとともに、優秀な留学生の積極的な獲得と卒業・修了後のネットワーク化を進めていきます。

このため、現在、インドネシアにおけるハブ拠点設置とインドネシア・チャプター（同窓会）設立に向けた準備作業を進めています。本学同窓生は同国の各界で活躍しており、チャプター設立によってこれらの同窓生の組織化やネットワーク化を進めていく予定です。

そのキックオフとして、2021年6月と7月の2回にわたってインドネシア同窓生・現役留学生を対象としたウェビナーを開催しました。第1回目のウェビナーでは、本学同窓生のトリ・ハンドコ国家研究イノベーション庁（BRIN）長官の挨拶の後、本学からチャプター設立に向けた趣旨説明を行い、参加者間で今後の活動に向けた活発な議論を行いました。



(インドネシア同窓生とのウェビナー)

■ 広島大学森戸国際高等教育学院北京校の設置

本学北京研究センターを設置している首都師範大学とは、センターを中心に長年にわたり教育・研究での連携を行ってきました。

また、2015年には共同大学院プログラムを設置し、現在はダブルディグリープログラムの実施等を行っています。2020年12月、同大学内に「広島大学森戸国際高等教育学院北京校」を設置することに合意し、2021年4月に正式に設置されました。現在、日本語・日本文化に興味のある非日本語専攻も含んだ中国の大学（本学協定校）に所属する学部学生に対し、実践的な日本語運用能力・日本文化理解力向上のための教育をオンラインにより実施する準備を進めています。



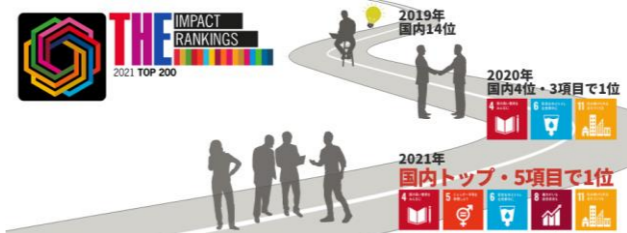
(調印式（越智 広島大学長と孟 首都師範大学長）)

数字で見る国際

■ THE世界大学インパクトランキング国内総合1位

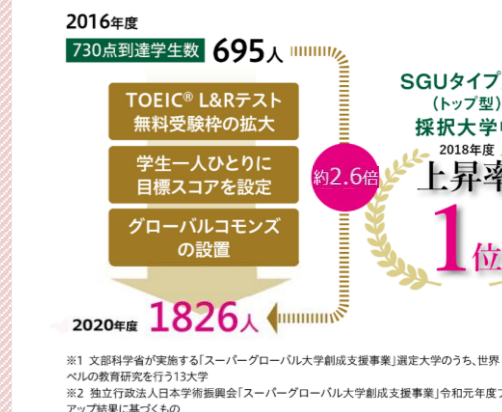
イギリスの高等教育専門誌Times Higher Educationが4月21日、「THE大学インパクトランキング2021」を発表しました。

本学は、総合スコアで東北大学等と並び1位となりました（昨年は4位）。項目別では、昨年に続きSDG4(質の高い教育をみんなに)、SDG6(安全な水とトイレを世界中に)、SDG11(住み続けられるまちづくりを)で国内1位となったほか、新たにSDG5(ジェンダー平等を実現しよう)、SDG8(働きがいも経済成長も)でも国内1位を獲得しました。



広島大学の目標スコア TOEIC® L&R 730点

海外留学に必要なスコアであり、また民間企業、公務員・教員採用試験で加点が得られるスコアです。



社会連携



■ 広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ 竣工

本学が整備を進めていた「国際交流拠点施設」は、2021年9月30日に竣工しました。名称は、学内募集で提案のあった「MIRAI CREA (ミライクリエ)」が採用され、「広島フェニックス国際センター ミライクリエ」と決定しました。この施設においては、グローバルな頭脳循環や交流ネットワークの形成により、イノベーションを創出する広島大学の国際的活動拠点として、さまざまな事業を展開していきます。また、世界のトップ研究者や優れた留学生に対する安全で快適な居住空間の提供（68室）などの機能も併せ持ち、2021年10月末に運営をスタートします。

本施設の1階多目的スペースは、普段はワークスペースとして活用するとともに、さまざまなワークショップやセミナーなども開催し、内外の研究者、学生、市民、起業家など多様な人々の交流を進めるイノベーション・ハブとして位置付けています。建物は、持続可能社会を体現する外観デザインとし、7階には国内外から招くトップクラスの研究者向けの居室も設けています。

また、この施設整備に当たっては東広島市からの支援を受けており、Town & Gown Officeの設置、留学生との交流や学生によるまちづくりの提案発表会、ワーケーション事業などを共同で進めていくこととしています。



3つの機能

- 1 イノベーションの創出
- 2 内外の多様な人々の交流と知識の循環
- 3 海外からの研究者や留学生などに対する安全で快適な居住空間の提供



交流ラウンジ
トップ研究者居室

7F



つながりを深めるカンファレンススペース
オフィス (Town & Gown, ASU)
会議室 ラウンジ

2F



日常の出会いを生み出す居住エリア
居室 (単身・家族)

3F
6F



多様な人が交流するコミュニティスペース
多目的スペース カフェ
コミュニティキッチン

1F



■ 組織的な産学連携への取組

本学は、企業の事業戦略に深く関わる大型共同研究の獲得・推進を通じて、世界的な革新的事業の創出を行い、日本経済・地域経済の活性化を図ることを目的として、学長直轄となる組織「オープンイノベーション事業本部 (HOIP)」を設置しています。

HOIPでは、産学連携担当部署とも密接に連携しながら企業の視点に立った共同研究の企画提案を行い、専門的な人材による集中管理体制のもとで国際市場への展開を視野に入れたプロジェクト運営を行っています。西日本随一の地方におけるイノベーション拠点として、世界トップレベルの教育・研究水準を連続的に事業化する組織・仕組みを整備し、新産業の創出を目指します。



■ 大学発のブランド「東広島こい地鶏」が誕生

本学と東広島市が共同でブランド地鶏を開発しました。その名も「東広島こい地鶏」。本学がライセンスを持つ「廣大鶏」の雄と米国原産の「ロードアイランドレッド」の雌を交配して作られます。

廣大鶏は日本鶏を掛け合わせた品種で、和牛のようなうま味のある脂が特徴です。日本鶏資源開発プロジェクト研究センターが廣大鶏を開発したところ、東広島市農林水産課から「地域振興のために、一緒に東広島の地鶏を開発してほしい」と声が掛かり、共同開発が実現しました。3年間の共同研究の結果、他のどこにもないうまい鶏が生まれました。東広島を冠する新たなブランド鶏に、地域おこしへの期待が高まります。



(東広島こい地鶏)

とにかくうま味が「濃い」

「東広島こい地鶏」に込められた4つの「こい」

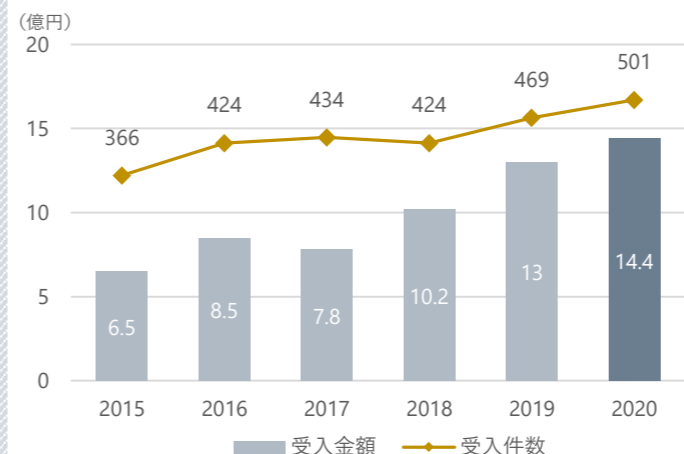
何度も食べたくなる「恋」じくなる味

地鶏を食べに東広島に来てほしい = 食べに「来い」

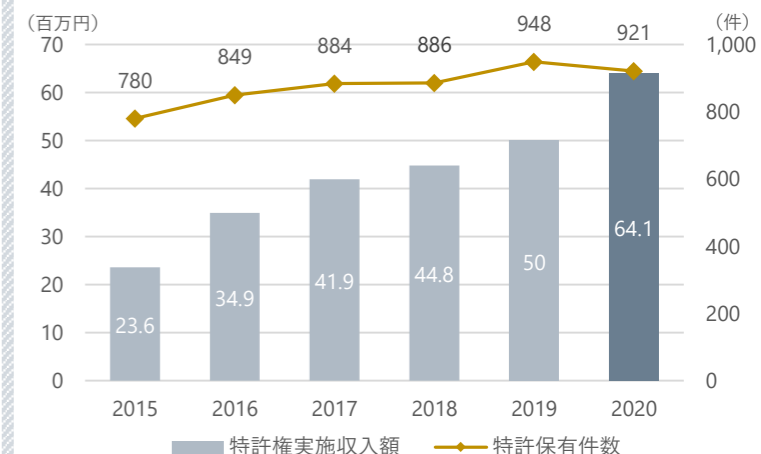
広島と言えばカーブ = 「鯉」カーブのように地元に愛される地鶏に

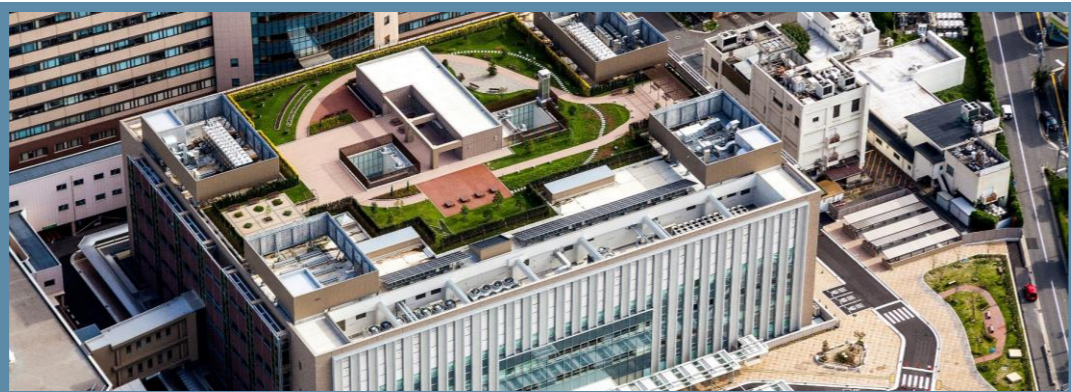
数字で見る社会連携

共同研究受入件数と受入金額の推移



特許保有件数と特許権実施収入額の推移





被ばく医療の質の向上へ緊急被ばく医療推進センター新営

本センターは原子力災害対策事業費補助金も活用して整備し、2022年3月竣工予定です。トリアージ・除染・処置実習室や研修室、会議室を備えた4階建ての施設です。

整備により、高度被ばく医療支援センターおよび原子力災害医療・総合支援センターとしての機能を強化し、原子力災害時の医療体制を確保するとともに被ばく医療の質を向上させ、一般の医療機関では対応困難な被ばく患者を治療する全国的な受け入れ体制を確立します。



「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)」の推奨

2021年1月、本院は一般社団法人 Medical Excellence JAPAN(MEJ)による「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ(JIH)」の推奨を受けました。

本制度は渡航受診者への「受入体制や取組」、「診断・治療の実績」を評価し、所定の基準を満たす病院を推奨する制度です。

JIHの推奨もSDGs17の目標の一つ「すべての人に健康と福祉を」推進するための活動です。国内でも在住外国人は増える傾向にあり、渡航者向けJIHの体制を整える中で、在住外国人患者への対応もスムーズに進むようになっていきます。



トリアージスペースの整備

本院は、地域医療の最後の砦として災害時にも診療を継続するために必要となる防災機能の強化を図ってきました。一方で、新型コロナウイルス等の感染症流行時に災害が発生した場合の対策は十分とは言い難く、従来の防災機能に加えて非常時における感染症対策の強化が必要となっていました。

そのため、2021年7月に感染症罹患の有無を判断するための検査や待合スペース等として、入院棟にトリアージスペースを整備しました。



(トリアージスペースの様子)

内視鏡トレーニングセンターを開設

医学部学生や研修医、若手医師らに内視鏡操作技術のスキルアップを図ってもらうため、内視鏡トレーニングセンターを設置しました。

学生実習（ポリクリ）、初期研修医・後期研修医のみならず、内視鏡医の卒後教育にも使えるようになっており、ベテランの専門医らが講師として、具体的な手技について指導します。

広島県とも連携し、がん検診受診率向上と内視鏡医の教育・育成を強化し、さらに多くの専門医の育成に努め、地域の内視鏡診療レベルの向上に貢献します。



(トレーニングセンター内の様子)

広島県で初のWATCHMAN手術に成功

2020年9月に循環器内科、脳神経外科、麻酔科、救急集中治療科等の他科・多職種で構成された本院のハートブレインチームが、広島県では初となる心房細動の患者さんへの左心耳閉鎖デバイス（WATCHMAN）手術2例を実施しました。

WATCHMANは、血栓が生じやすいとされる左心耳を閉鎖するデバイスです。一回の手技で脳梗塞が予防でき、抗凝固療法を中止することができるので経済的な負担も軽減されます。



(手術の様子)

マスクなどのご支援に対するお礼

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、各方面から、本院に対し、マスクなどの医療物資のほか、職員への支援の食品など、非常に多くのご支援をいただきました。

これらの皆様のご厚意に対し心より感謝申し上げます。

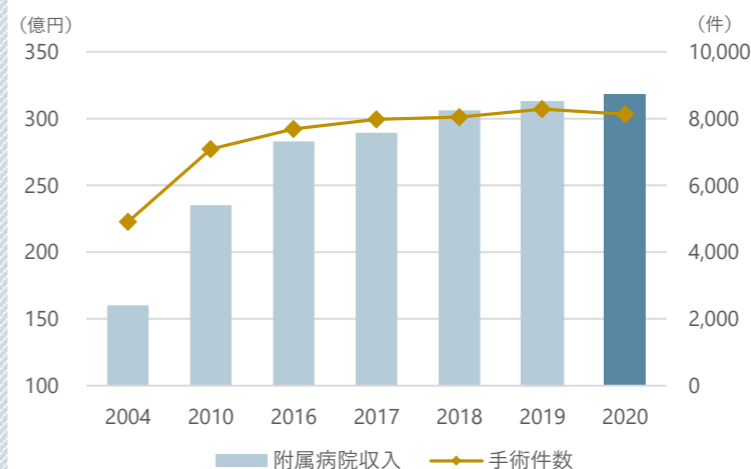
いただいた品々は、大切に使用させていただき、引き続き広島大学病院としての使命を果たしてまいります。



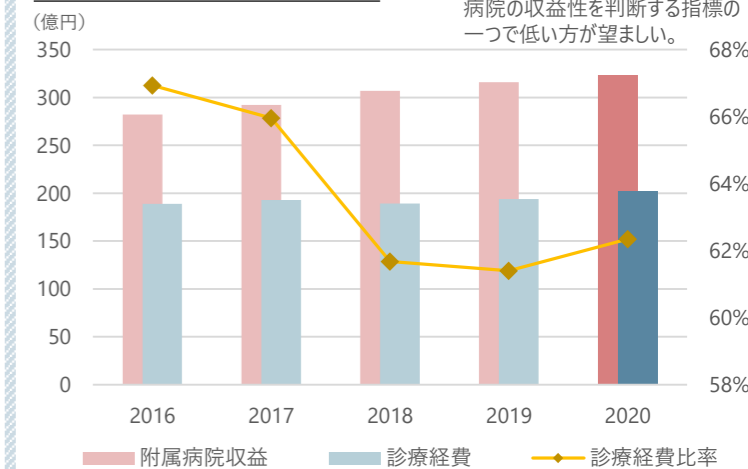
(小児科に送られたマスク)

数字で見る病院

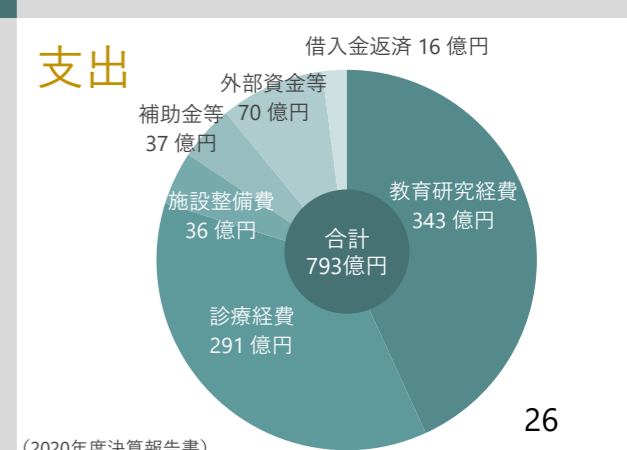
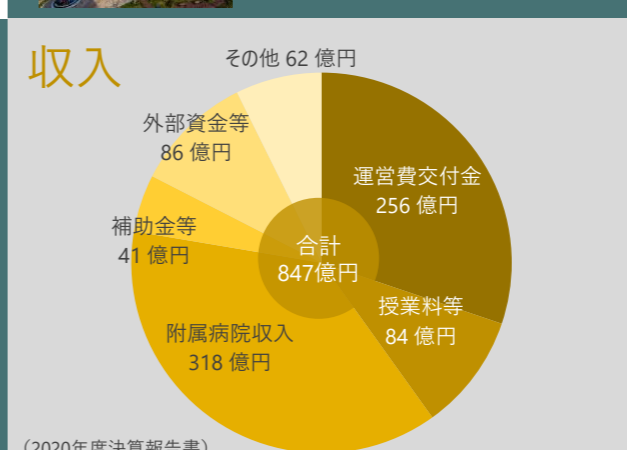
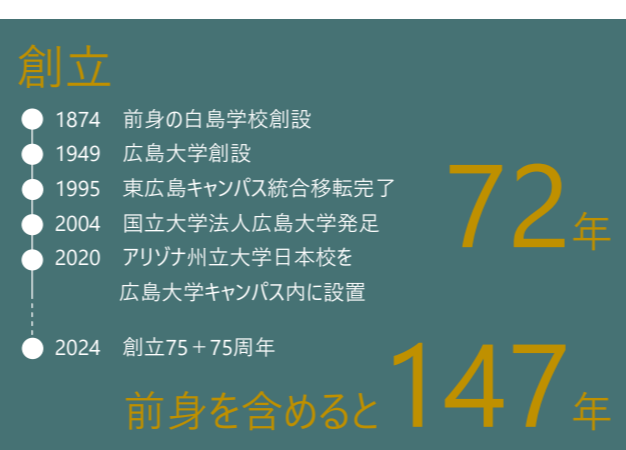
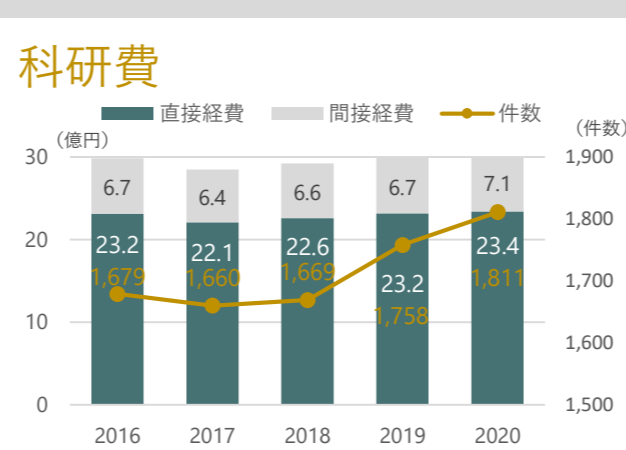
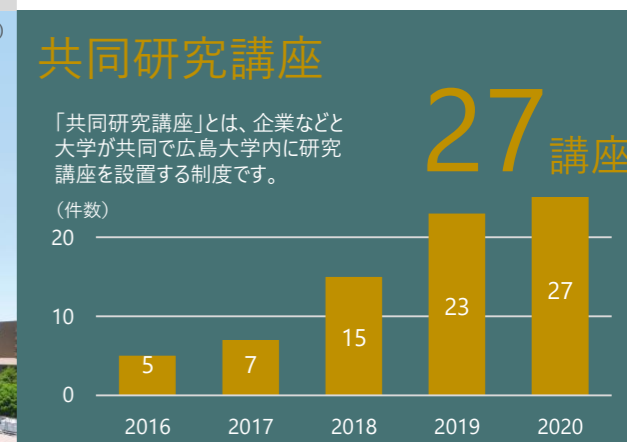
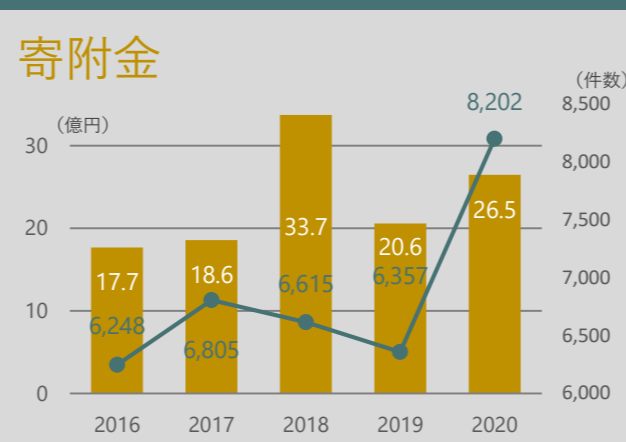
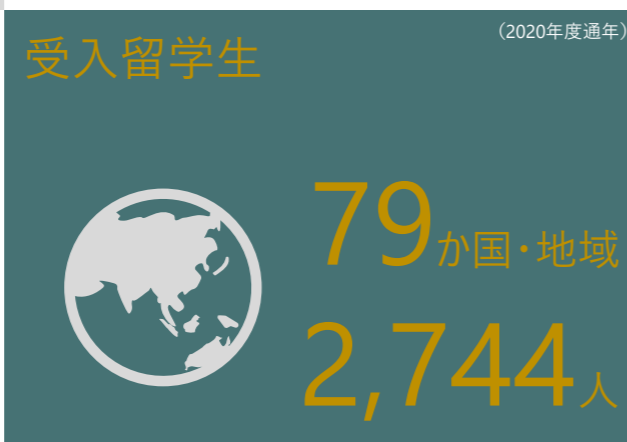
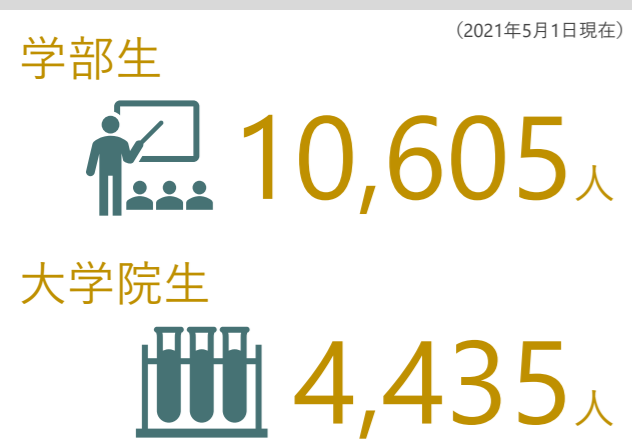
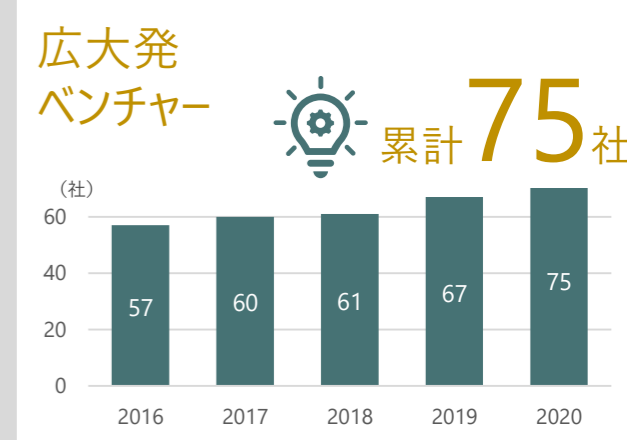
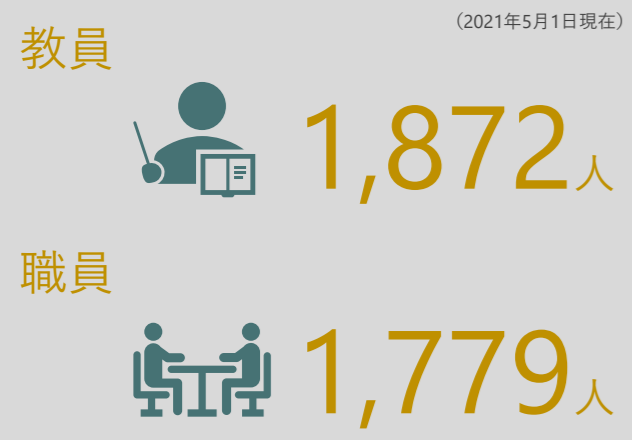
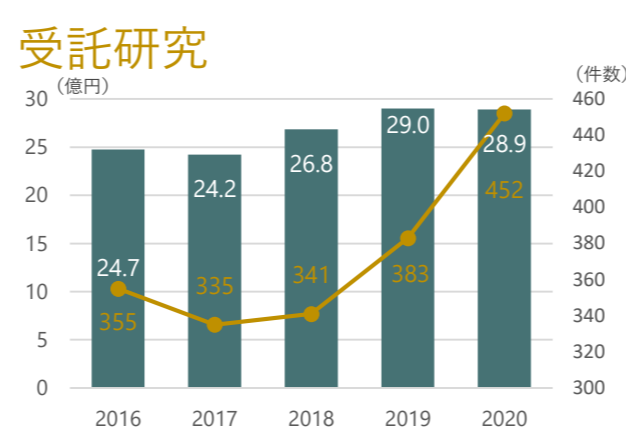
附属病院収入と手術件数の推移



附属病院収益と診療経費の推移

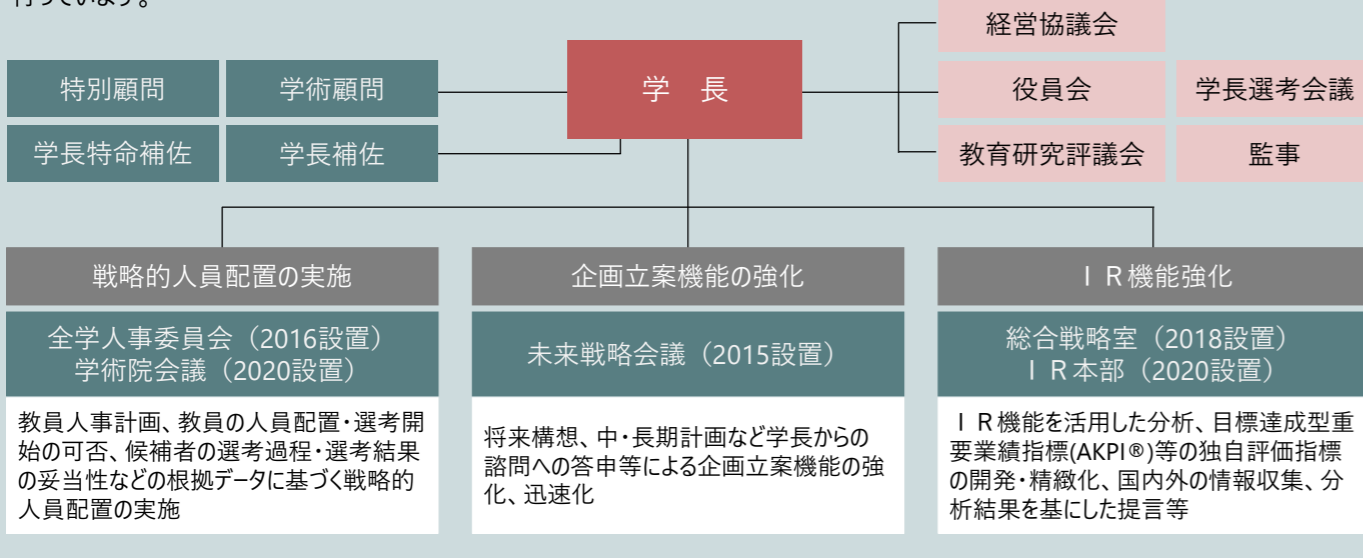


数字で見る 広島大学



広島大学のガバナンス体制

本学では、国立大学法人法で定められたガバナンス体制に加え、「持続可能な発展を導く科学を实践する世界的な教育研究拠点」を目指すため、学長のリーダーシップによる戦略的な企画、立案、実行が可能となるガバナンスとマネジメントの一体改革を行っています。



経営協議会

大学の経営に関する重要な事項を審議する機関として、経営協議会を設置しています。

経営協議会は、学長、理事である学内委員のほか、大学に関して広くかつ高い見識を有する学外委員により構成しており、学外委員からの意見を取り入れることにより、よりよい大学経営を行う体制としています。

学外委員 (2021年6月30日現在)

株式会社中国新聞社代表取締役社長	岡島 鉄也	公立大学法人熊本県立大学理事長	白石 隆
中国電力株式会社代表取締役会長	苅田 知英	三菱重工業株式会社名誉顧問	佃 和夫
福島県健康医療対策対策監・ 一般財団法人脳神経疾患研究所常任顧問	菊地 臣一	株式会社イズミ代表取締役社長	山西 泰明
芝浦工業大学客員教授	國井 秀子	山形大学名誉教授 (元山形大学長)	結城 章夫
長浜バイオ大学特別客員教授・ 元お茶の水女子大学学長	郷 通子	株式会社三菱ケミカルホールディングス執行役 常務、CIO兼CTO、先端技術・事業開発室長	ラリー・マイクスナー

教員人事制度改革

2020年4月から、全学人事委員会に加え、学術院の専門領域と基礎教育領域の長から構成する学術院会議での教員人事を開始し、教育研究組織の枠を超えた組織横断的な観点による教員人事を行っています。

さらに、2021年度は、11の専門領域別に第4期中期目標期間6年間の教員配置計画を作成し、それに基づき専門領域から人事を申請する仕組みに発展させました。

これにより、限られた人的資源を戦略的・計画的に活用し、大学の将来構想の実現と機能強化を推進します。



広島大学の改革と教員人事制度HP
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/personnelsystem>

研究費等の不正使用防止等に関する取組

本学では、研究費等の不正使用を防止するための基本方針および計画として「研究費等の不正使用防止計画」を定め、研究費等の適正な運営・管理の基盤となる環境を整備するとともに、不正を発生させる要因を把握・分析するなど、不正使用を防止するための取組を実施しています。

また、本学では、文部科学省による「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン（実施基準）」で対象となっている「文部科学省等から配分されている公募型の研究資金」から範囲を拡大し、「本学が管理するすべての経費」を対象に、これらの取組を実施しています。

構成員に向けた啓発活動の促進

どういったことが研究費等の不正使用に該当するのか、どのような要因から発生するのか、どれだけの影響があるのかなど、不正使用を防止するために知っておくべき基本的な内容を、教職員向け、学生向けにそれぞれまとめたハンドブックとリーフレットを2021年7月にリリースしました。

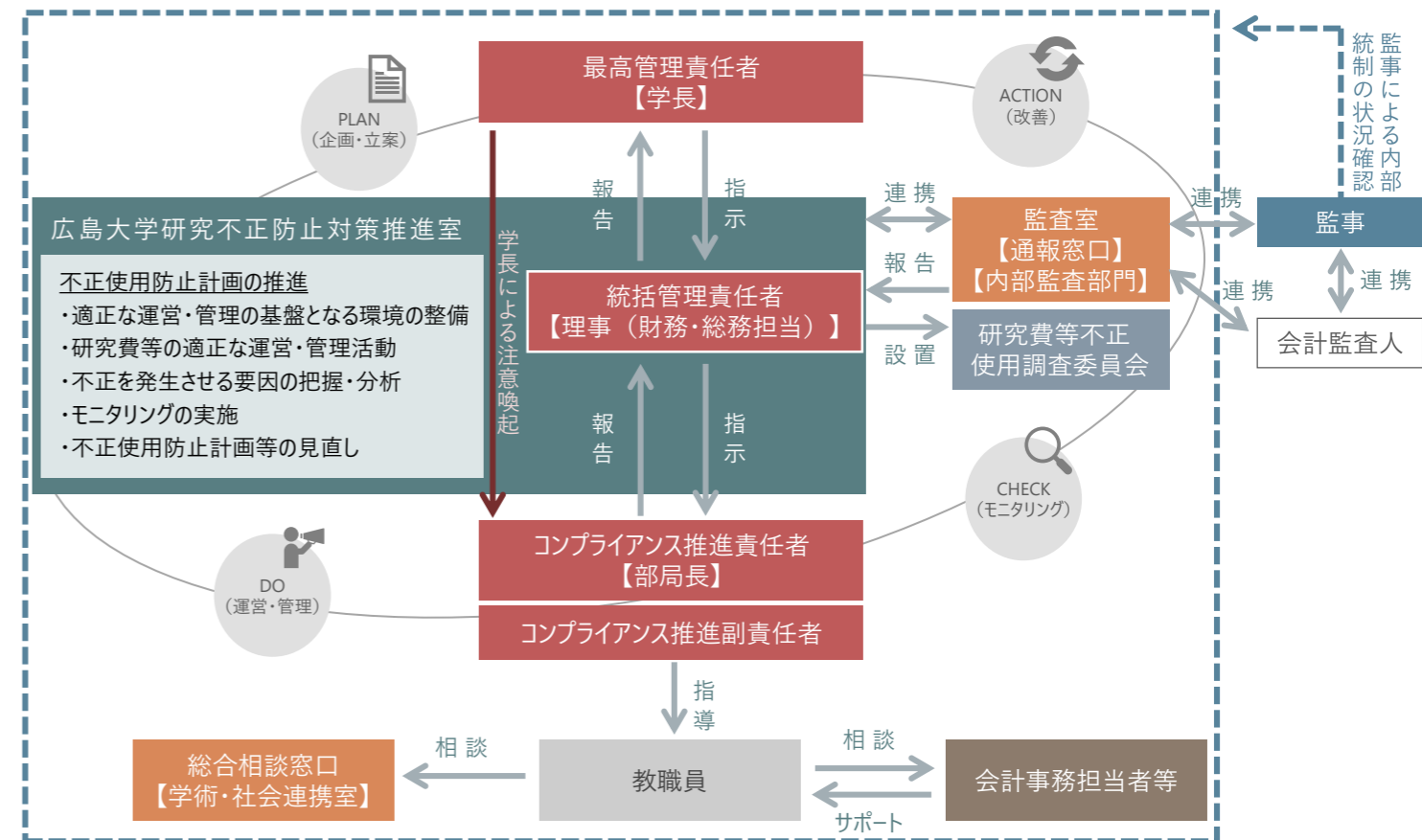
これらを活用し、構成員の意識の向上や浸透を図ることで、不正を起こさない、起こさせない組織風土の形成を進めています。

(左) 研究費等不正使用防止・研究活動不正防止ハンドブック (教職員向け) ※学内限定公開
 (右) 研究費等不正使用防止リーフレット (学生向け)



研究費等の運営・管理体制

研究費等の運営・管理、および不正使用防止等については、最高責任者である学長を中心に、以下の体制を構築しています。関連部署が、体系的に「研究費等の不正使用防止計画」に基づいた取組を実施することで、Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) のサイクルを繰り返し、継続的な改善を促しています。



貸借対照表 B/S

貸借対照表は、財政状態を明らかにするため、貸借対照表日（3月31日）におけるすべての資産、負債および純資産を記載しています。

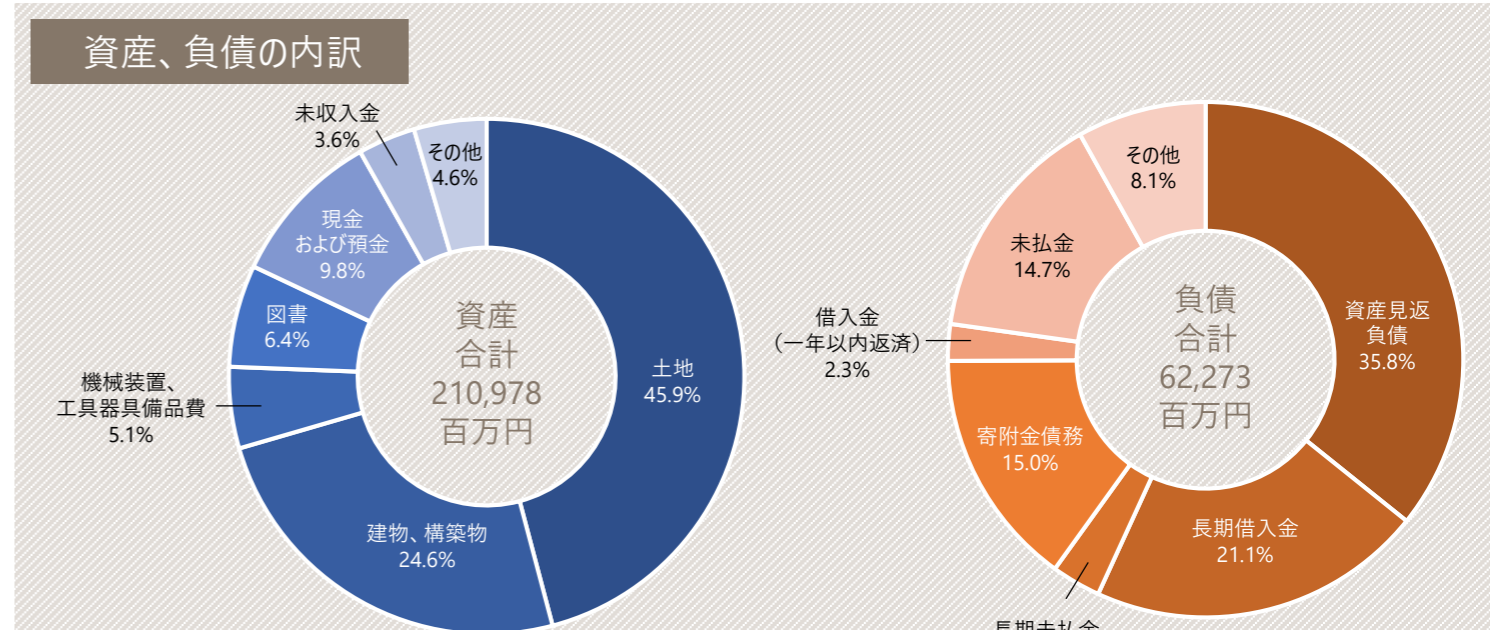
2020事業年度決算では、資産の部が2,110億円（対前年度+60億円）、負債の部が623億円（対前年度+16億円）、純資産の部が1,487億円（対前年度+44億円）となりました。

（単位：百万円）

科目	2018	2019	2020	前年比
資産の部	198,962	204,985	210,978	5,993
Ⅰ 固定資産	173,296	174,968	175,902	934
1 有形固定資産	171,736	173,168	174,157	990
土地	96,808	96,796	96,796	0
建物、構築物	52,939	51,660	51,941	281
機械装置、工具器具備品	7,497	9,932	10,777	845
図書	13,553	13,555	13,530	▲25
建設仮勘定	190	632	583	▲48
その他	749	593	530	▲62
2 無形固定資産	460	400	344	▲55
3 投資その他の資産	1,100	1,400	1,400	0
Ⅱ 流動資産	25,666	30,017	35,076	5,059
現金および預金	11,525	16,709	20,726	4,017
未収入金	6,329	7,020	7,606	586
有価証券	7,148	5,612	6,110	498
その他	663	676	633	▲43
負債の部	56,397	60,693	62,273	1,579
Ⅰ 固定負債	38,832	40,065	38,545	▲1,520
資産見返負債	21,735	22,378	22,290	▲88
長期借入金	16,051	14,552	13,136	▲1,416
長期未払金	227	2,113	1,938	▲175
その他	819	1,022	1,182	160
Ⅱ 流動負債	17,565	20,628	23,727	3,099
運営費交付金債務	40	48	183	135
寄附金債務	7,583	8,171	9,355	1,184
前受受託研究費等	1,002	1,198	1,672	473
借入金（一年以内返済）	1,564	1,498	1,416	▲82
未払金	5,857	8,139	9,123	984
その他	1,520	1,573	1,978	405
純資産の部	142,565	144,292	148,706	4,414
Ⅰ 資本金	147,215	147,209	147,209	0
Ⅱ 資本剰余金	▲15,812	▲15,938	▲13,630	2,308
Ⅲ 利益剰余金（当期末処分利益除く）	8,223	10,858	11,964	1,106
Ⅳ 当期末処分利益	2,939	2,162	3,162	999

前事業年度と比較した主な増減要因

<p>建物、構築物</p> <p>放射線先端医学実験棟新設および東広島キャンパス総合研究棟（生物科学系）改修などにより、全体で3億円増加しています。</p>	<p>機械装置、工具器具備品</p> <p>電子計算機システムおよびキャンパス情報ネットワークシステム更新などにより、全体で8億円増加しています。</p>
<p>放射線先端医学実験棟</p> <p>2021年5月、新設した「放射線先端医学実験棟」が本格稼働しました。国内外の研究者らとの共同利用・共同研究などのために放射線実験施設、動物実験施設、遺伝子実験施設、放射線災害医療分野の人材育成のための災害トレーニングセンターを設置しました。放射線医学研究の拠点と世界の放射線災害・医学領域の発展に貢献することを目指します。</p>  <p>放射線先端医学実験棟（中央建物）</p>	<p>長期借入金</p> <p>病院の建物、設備整備に係る借入金について、2020年度新規借り入れはなく、計画的に償還を行ったことから、14億円減少しています。</p>
	<p>寄附金債務</p> <p>企業・団体や個人の皆様から本学にお寄せいただいた寄附の残高です。国立大学法人の会計制度では、寄附金は受入れ時に負債計上し、経費の使用に応じて収益等へ振り替えます。広島大学基金へのご寄附の増加などにより年々増加しており、前年度比で12億円増加しています。</p> <p>財務 寄附金受入時の会計処理 財務情報 国立大学法人の会計制度 「収益の認識」39ページ</p> <p>基金 広島大学基金の受入実績 広島大学基金 「広島大学基金の状況」42ページ</p>



損益計算書 P/L

損益計算書は、運営状況を明らかにするため、一会計期間におけるすべての費用と収益を記載し、当期純利益を表示しています。国立大学法人は公共的な性格を有し、利益の獲得を目的としていないことから、民間企業とは異なり、経営成績ではなく運営状況を明らかにするために損益計算を行います。

2020事業年度決算では、経常費用が766億円（対前年度▲1億円）、経常収益が795億円（対前年度+8億円）、当期総利益が32億円（対前年度+10億円）となりました。

(単位：百万円)

科目	2018	2019	2020	前年比
経常費用	73,981	76,685	76,573	▲ 112
業務費	72,290	74,415	75,008	592
教育経費	3,954	4,007	3,510	▲ 497
研究経費	4,905	5,434	6,001	567
診療経費	18,927	19,392	20,141	749
教育研究支援経費	1,418	1,517	1,111	▲ 406
受託研究費等	3,728	4,263	3,966	▲ 297
人件費	39,358	39,802	40,279	477
一般管理費	1,427	2,023	1,315	▲ 709
財務費用	186	202	182	▲ 20
雑損	78	44	69	25
臨時損失	27	26	48	22
費用合計	74,007	76,710	76,621	▲ 90
経常収益	76,876	78,653	79,461	807
運営費交付金収益	25,344	25,441	25,331	▲ 110
学生納付金収益	8,876	8,773	8,541	▲ 232
附属病院収益	30,688	31,585	32,305	721
受託研究等収益	4,389	5,034	4,771	▲ 263
寄附金収益	1,704	1,547	1,629	82
施設費収益	279	1,395	628	▲ 767
補助金等収益	1,611	1,610	3,020	1,410
財務収益	128	35	51	16
雑益	1,384	1,346	1,359	13
資産見返負債戻入	2,473	1,889	1,827	▲ 62
臨時利益	27	25	45	20
収益合計	76,903	78,678	79,505	827
当期純利益	2,896	1,968	2,885	917
目的積立金取崩額	44	195	277	82
当期総利益	2,939	2,162	3,162	999

前事業年度と比較した主な増減要因

研究経費

研究プロジェクト「ウイルス等感染症対策技術開発事業（実証・改良研究支援）」の採択をはじめとする新型コロナウイルスに対する基礎研究等や、新型コロナウイルス感染症対策の機関補助金採択の影響などにより、全体で6億円増加しています。

特集 コロナ禍での本学の取組
特集 広島大学と新型コロナウイルス「新型コロナウイルスに関する研究」14ページ

目的積立金取崩額

目的積立金とは、業務の効率化による経費の節減や積極的な自己収入増加を図ったことなど、経営努力により生じた利益として、文部科学大臣の承認を受けて翌期の事業に使用できる利益です。目的積立金を取り崩して使用した場合、費用相当額の目的積立金取崩額を計上します。

2020年度は、若手教員の雇用推進などのため目的積立金の一部を活用し、全体で1億円増加しています。

社会連携 その他の目的積立金を活用した事業
活動実績 社会連携
「広島大学フェニックス国際センター ミライクリエ 竣工」21ページ

財務 目的積立金
財務情報 国立大学法人の会計制度
「国立大学法人の利益」40ページ

雑益

広告掲載料収入の増加、ネーミングライツ（命名権）制度導入などにより、全体で増加しています。

2020年度から、本学と賀茂泉酒造株式会社（東広島市）がタイアップした日本酒「広大（ひろだい）」と、広島東洋カープとのコラボレーショングッズが東広島市のふるさと納税返礼品となっています。

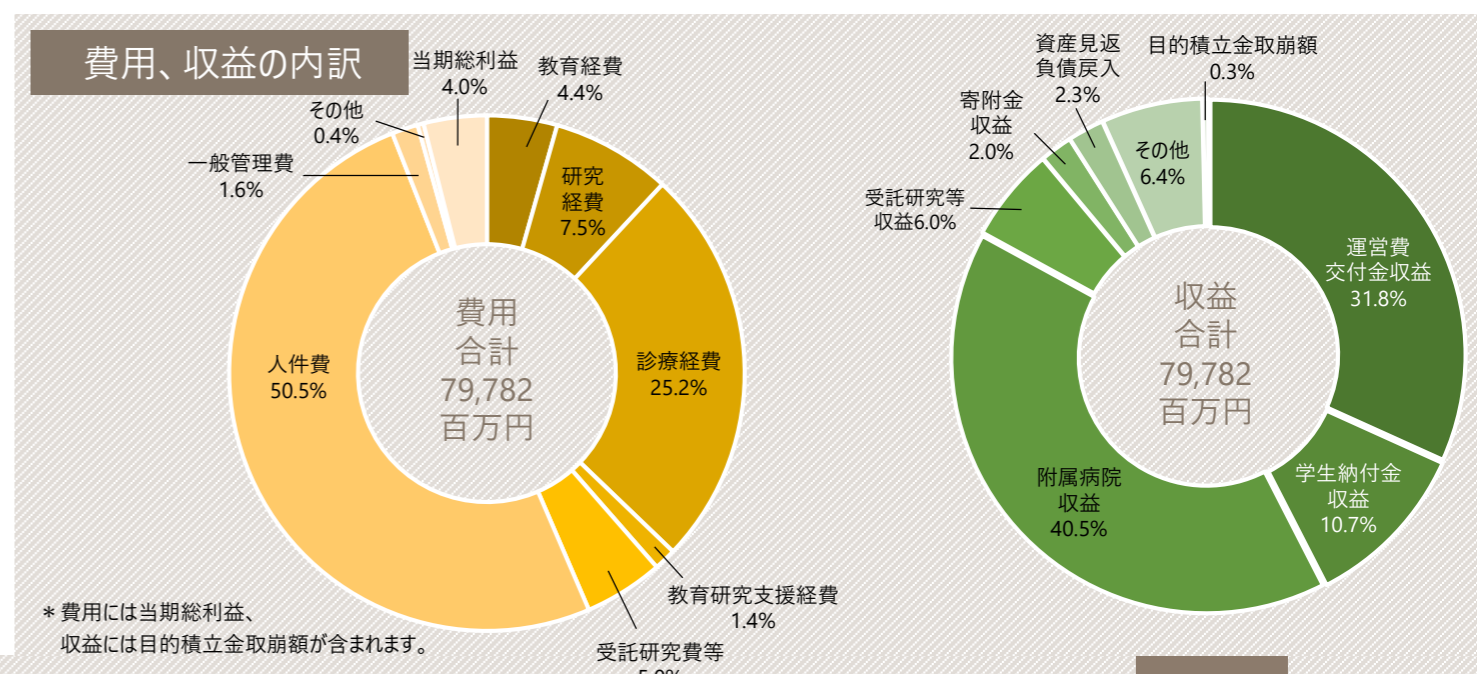
ネーミングライツ

本学では、所有施設の有効活用による自己収入の拡大を図り、教育研究環境の向上を目的として、ネーミングライツ制度を2020年4月1日に導入しました。

※8件契約締結（2021年10月1日現在）



本学初となるネーミングライツ制度により誕生した「KATO OMOSHIRO LAB」のオープニングセレモニーの様子（2020年10月2日）

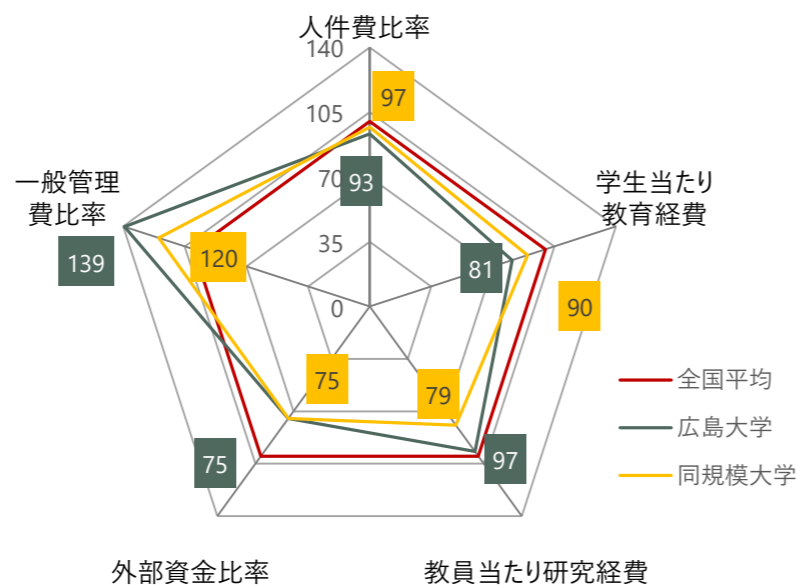


財務指標

財務指標は、国立大学法人の活動状況を把握するための参考情報の一つであり、財務の健全性・効率性および活動性等の観点から分析を行ったものです。

なお、右のチャートは、2020事業年度決算における全国立大学の平均値を100とし、同規模大学（※）と本学を比較したものです。比率が低い方が望ましい指標（人件費比率、一般管理費比率）については、逆数を用いており、グラフ上はすべて外側に行くほど財務上の評価が高くなるようにしています。

※ 同規模大学
筑波大学、千葉大学、金沢大学、神戸大学、岡山大学、広島大学

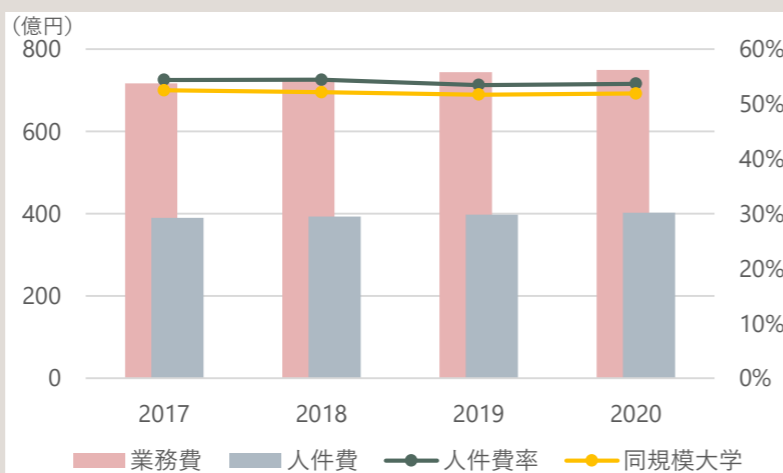


人件費比率

業務費に占める人件費の割合を示す指標です。

2020事業年度決算においては、診療体制の充実を図るため、看護師の増員等を行ったこと等に伴い人件費比率が増加しています。同規模大学と比較すると、高い比率となっており、病院セグメントにおける業務の内製化等が要因です。

	2017	2018	2019	2020
人件費比率	54.4%	54.4%	53.5%	53.7%
人件費(億円)	390.0	393.6	398.0	402.8
業務費(億円)	716.9	722.9	744.2	750.1



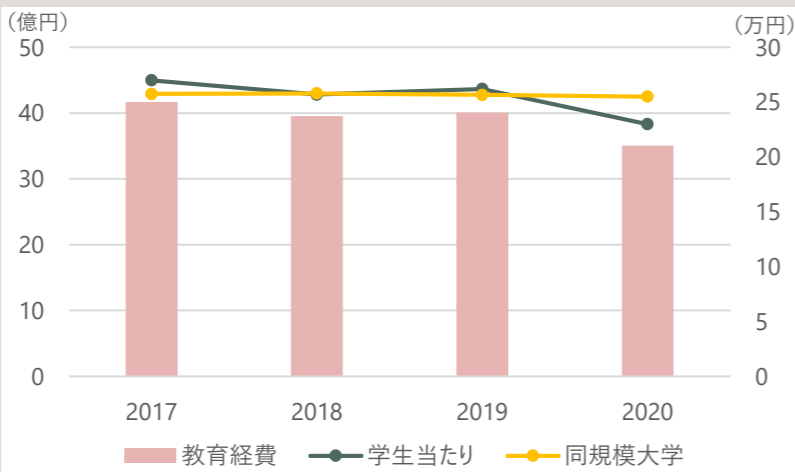
学生当たり教育経費

学生一人当たりの教育経費を示す指標です。

2020事業年度決算においては、2019事業年度決算における単年度事項（工学部講義棟改修工事）や新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国内外旅費の減等により教育経費が減少しています。

※教育経費には、教員人件費は含まない

	2017	2018	2019	2020
学生当たり(万円)	27.0	25.7	26.2	23.0
教育経費(億円)	41.7	39.5	40.1	35.1
学生数(人)	15,424	15,384	15,281	15,214

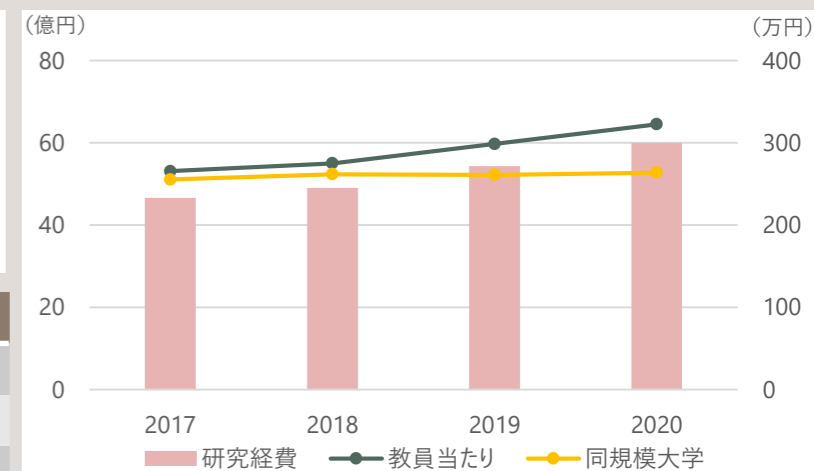


教員当たり研究経費

教員一人当たりの研究経費を示す指標です。

2020事業年度決算においては、研究プロジェクト「ウイルス等感染症対策技術開発事業（実証・改良研究支援）」の採択をはじめとする新型コロナウイルスに対する基礎研究等の推進や統合生命科学研究科や原爆放射線医科学研究所の実験研究棟に係る移転費の増加等により研究経費が増加しています。

	2017	2018	2019	2020
教員当たり(万円)	265.4	275.1	298.5	322.4
研究経費(億円)	46.6	49.1	54.3	60.0
教員数(人)	1,757	1,783	1,820	1,861

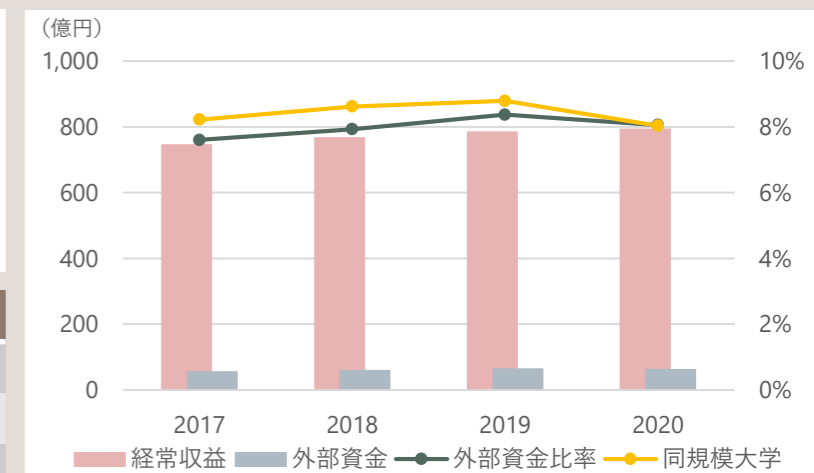


外部資金比率

経常収益に占める外部資金の割合を示す指標です。

2020事業年度決算においては、共同研究講座の増加等により、共同研究収益が増加した一方、研究プロジェクトの受託研究の終了等により、受託研究収益が減少したことに伴い外部資金収益が減少しています。

	2017	2018	2019	2020
外部資金比率	7.6%	7.9%	8.4%	8.1%
外部資金(億円)	56.8	60.9	65.8	64.0
経常収益(億円)	747.6	768.8	786.5	794.6

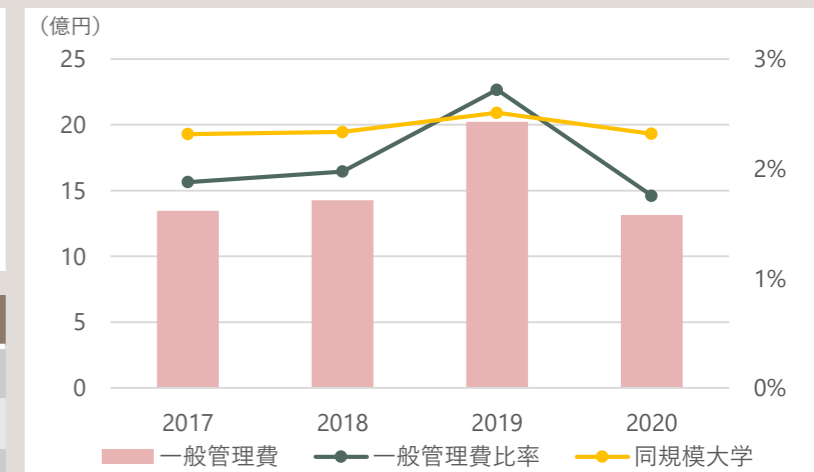


一般管理費比率

業務費に占める一般管理費の割合を示す指標です。

2020事業年度決算においては、2019事業年度決算における単年度事項（平成30年7月豪雨災害の復旧工事の完了）等により、一般管理費が減少しています。同規模大学と比較すると低い比率となっており、事務部門における消耗品等の節減の努力等が要因です。

	2017	2018	2019	2020
一般管理費比率	1.9%	2.0%	2.7%	1.8%
一般管理費(億円)	13.5	14.3	20.2	13.1
業務費(億円)	716.9	722.9	744.2	750.1



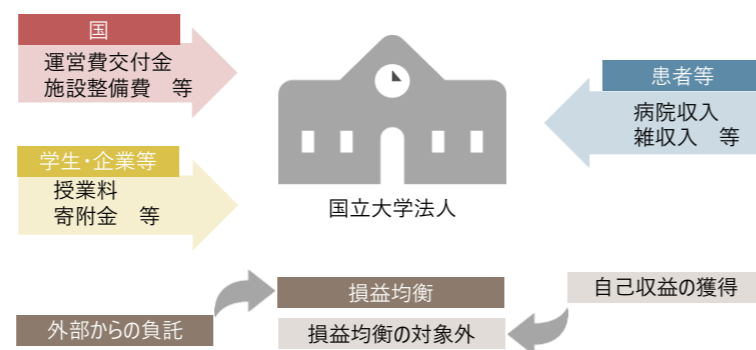
国立大学法人の会計制度

国立大学法人の会計制度は、原則として企業会計によりますが、国立大学法人の特性を考慮し、企業会計には見られない特有の会計処理を取り入れています。より多くの皆様に本学の財政状態や運営状況を知っていただくために、国立大学法人会計の会計制度について説明します。

国立大学法人の収入

国立大学法人は、学生からの授業料等の学生納付金や病院収入等の自己収入、国からの運営費交付金等で運営されています。

これらの収入は、収入源の性質に応じて会計処理が行われます。



国立大学法人と民間企業の違い

国立大学法人は、公共的な性格を有し、利益の獲得を目的とせず、独立採算性を前提としないなどの特性に加え、主たる業務内容が教育・研究等であるなどの特性があります。

そのため、通常の業務運営を行った場合、基本的には利益は生じず、損益が均衡する仕組みとなっています。

	活動の目的	利益の獲得
民間企業	ステークホルダーの利益最大化、企業価値最大化	目的とする
国立大学法人	公共的性格を有する教育・研究等の実施	目的としない

国立大学法人特有の仕組み

収益の認識

運営費交付金や授業料、寄附金等を受入れたときは、受入により国立大学法人は教育・研究等の事業を行う義務を負うとの考えから、債務として負債に計上し、教育・研究等の事業の達成によりその義務が果たされた後に、収益として認識します。教育・研究等の事業が達成されなければ負債のままとなります。

この収益化処理には、期間進行基準、業務達成基準、費用進行基準と3つの基準があり、それぞれの基準によって収益化額が異なります。

貸借対照表 (B/S)		損益計算書 (P/L)	
現預金 100	運営費交付金債務 100	運営費交付金の受入だけでは収益として認識しません	
60のコストをかけて業務実施			
現預金 40	運営費交付金債務 40	費用 60	運営費交付金収益 60
収益化の基準	期間進行基準 ... 時の経過に伴い事業が実施されたのみなし収益化します。	業務達成基準 ... 事業の達成度に応じて収益化します。	費用進行基準 ... 事業のための費用発生をもって業務実施とみなし収益化します。

損益均衡を前提とした会計処理

「収益の認識」で説明したように、運営費交付金や授業料、寄附金等を受入れたときは、債務として負債に計上し、事業を達成すると、その相当額を収益化の基準に従って収益化する仕組みとなっています。

また、一般的に固定資産を運営費交付金等で取得した場合、固定資産と同額を資産見返負債という別の負債として計上することで、収益計上を一旦留保します。その後、留保された金額から減価償却費と同額を毎年収益に振替えます。

このように、国立大学法人は、通常の業務を行えば損益均衡するように制度設計されています。

取得時点	1年目	2年目	3年目
機械 30 費用 0 減価償却費の発生	減価償却費 10	減価償却費 10	減価償却費 10
資産見返負債 30 収益 0 減価償却費にあわせて収益に振替	収益 10	収益 10	収益 10
機械を取得した時点では収益計上せず、減価償却費と同額を毎年収益に振替え、損益を均衡させています。			
費用 10 収益 10 損益0	費用 10 収益 10 損益0	費用 10 収益 10 損益0	費用 10 収益 10 損益0

現金の裏付けのない帳簿上の利益

病院収入等是对価を伴う業務による収入であることから、民間企業と同様の会計処理となります。国立大学法人特有の損益均衡を前提とした会計処理は行わず、診療等の実施による収益はそのまま各年度の収益となります。そのため、病院収入等により資産を取得した場合には、支出年度と費用計上年度が異なるため、以下のように現金の裏付けのない帳簿上の利益や損失が発生します。また、借入金の償還期間と借入金により建設した建物等の減価償却期間が異なる場合も現金の裏付けのない帳簿上の数字となります。

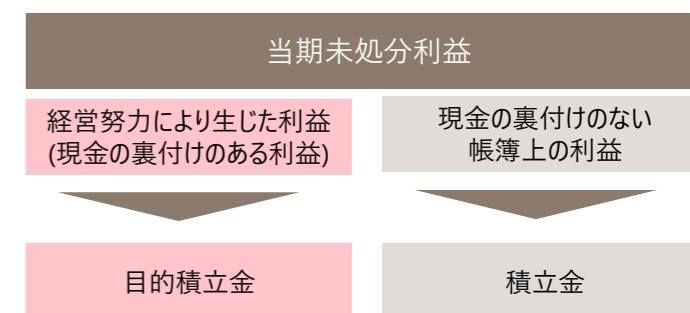
取得時点	1年目	2年目	3年目
機械 30 費用 0 減価償却費の発生	減価償却費 10	減価償却費 10	減価償却費 10
負債 0 収益 30 購入年度に収益を計上	収益 30	収益 0	収益 0
減価償却費と同額を毎年収益に振替えるという処理は行いません。			
費用 10 収益 30 利益 20	費用 10 収益 0 損失 10	費用 10 収益 0 損失 10	費用 10 収益 0 損失 10

国立大学法人の利益

国立大学法人の利益には、経営努力により生じた利益と現金の裏付けのない帳簿上の利益の2つがあります。

未処分利益のうち、経営努力により生じたものとして文部科学大臣の承認を受けた利益は、次年度以降の教育・研究を充実させるために、目的積立金として中期計画の剰余金の使途に従って使用することができます。

現金の裏付けのない帳簿上の利益は、積立金として次年度以降に損失が発生した場合、相殺します。



広島大学基金は、本基金の趣旨に賛同する個人および法人（企業・団体）の皆様からの篤志による寄附金により成り立っています。世界トップ100の総合研究大学を目指し「平和を希求し、チャレンジする国際的教養人」の育成のために、広島大学基金を活用して、奨学金など、主に学生の支援を行っています。

皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。
詳しくは
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>



■ 広島大学75+75周年に向けて

1874年創立の白島学校を源流とする広島大学は、来る2024年が創立75周年であり、その前史である75年も加えると150年という節目の年に当たります。

広島大学基金は節目の年となる2024年に向け、「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」として次の事業を行うことを目的として寄附募集を行っています。これらの事業を通して躍動する広島大学を、地域の方々に最大限に活用頂き、広島の地が活性化することを目指しています。

1. 「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（感性COI拠点）」を中核とした、より高いレベルで地域や実業界との協働を目指す拠点の構築
2. 平和センターを中核とした平和に関する教育・研究・社会貢献拠点の構築
3. 海外トップ研究者による研究成果の社会実装を目指すための研究者と実業界との交流拠点の構築

2021年、本学では、上記事業で掲げる拠点整備に着手し、各キャンパスの拠点化を推進します。

東千田キャンパスでは、法学部を東広島キャンパスから移転し「法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点」として整備します。また、霞キャンパスについては「医療人養成拠点」として病院への最先端医療機器の導入、治験・臨床研究の増大を推し進めます。法学部移転後の東広島キャンパスについては、米国アリゾナ州立大学の広島大学グローバル校の誘致、「広島大学フェニックス国際センター ミライ クリエ」整備などグローバルキャンパスの実現を目指します。

■ 広島大学基金の主な活用方法

学生の奨学金のために

学生が経済事情に関わらず、安心して修学することができるよう、さまざまな奨学制度を整備しています。

学生の修学環境の向上を目指します。



チャレンジする国際教養人を育成するために

海外経験の少ない学部生を対象に、海外協定大学での授業や生活を体験させることを通じて、学生の世界で通用する人材として必要となる能力の向上を目指します。



世界で活躍する研究者を育成するために

研究に邁進する学生が、その研究成果を海外で行われる国際学会で発表する機会を創出しています。

世界で活躍する研究者の育成を目指します。



国際的な教育研究拠点となるために

本学の主要なキャンパスである東千田キャンパス・東広島キャンパス・霞キャンパスを活用し、地域の活性化に繋げるための取組です。



■ 新たに2つの基金を立ち上げ寄附募集開始

主な用途を特定した2つの基金を新たに立ち上げました。

研究等支援事業基金

国際学会では大学院生が国際的に通用する研究者を目指し、さまざまな国籍の優秀な研究者を前に研究成果を発表します。研究等支援事業基金は、この重要な機会を大学院生に提供するための支援を行うものです。なお、本基金は、個人寄附について「所得控除」に加え、「税額控除」の適用対象です。



広島大学外国人留学生支援基金

世界で活躍するグローバル人材の持続的な育成・輩出を目的として、本学に在籍する私費外国人留学生に対する経済的な環境を整えるための奨学金の給付に活用するものです。



■ 寄附信託を活用した新たな取組「感染症に強い日本を創るプロジェクト」スタート

本学では、三井住友信託銀行がリリースした新たな「医療支援寄附信託」に参画し、「感染症に強い日本を創るプロジェクト」をスタートしました。新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対する研究や医療人材育成を行っています。

併せて、遺言書を作成せずに、万一の際、財産の一部を簡便に寄附することが可能な「遺言代行寄附信託」も始まっています。



1 感染症に打ち勝つための研究・開発

2 感染拡大時に即時対応可能な医療人材育成

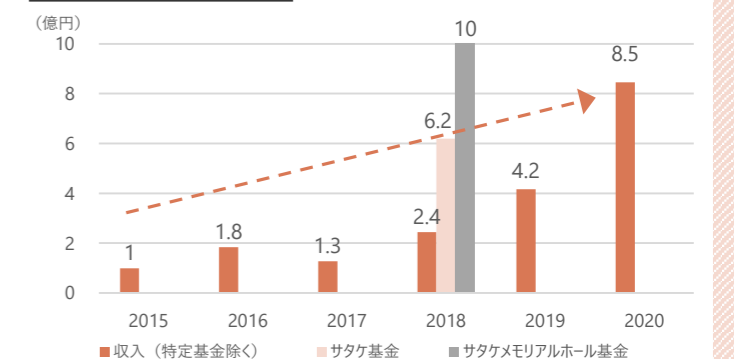
3 感染症に係る診療支援・機器等整備

広島大学基金の状況

広島大学基金の2020年度の収支状況について、受入額は8.5億円、支出額は1.4億円となっております。広島大学基金の受入額の推移は順調に拡大しており、基金残高は前年度比7億円増の35億円となっております。

基金内訳	2020 (百万円)			
	前年度繰越額	受入額	支出額	残額
一般基金	1,100	718	56	1,762
修学支援事業基金	0	80	47	33
冠事業基金	87	25	4	108
のぞみH基金	5	2	5	2
サタケ基金	613	0	2	611
サタケメモリアルホール基金	1,000	0	10	990
その他使途特定基金	0	21	18	3
合計	2,805	846	143	3,509

広島大学基金受入額推移



ステークホルダーのみなさまへ

「広島大学財務報告書2021」をご覧くださいありがとうございます。

本学では、2006年度より財務報告書を発行してまいりました。2020年度からは、法人経営、教育・研究・社会貢献などの情報も盛り込み、財務情報や数字で表せるインプット、アウトプットだけでなく、大学改革や数字で表せない活動も分かりやすく公表するなど、ステークホルダーのみなさまに本学への理解を一層深めていただくことを主眼に、より充実した内容へと全面的に刷新しております。

国立大学法人を取り巻く財務状況は年々厳しさを増しています。2004年の法人化以降、国立大学法人運営費交付金は年々減少傾向にあり、第3期中期目標期間（2016～2021年度）においては、各国立大学が設定した評価指標の達成度に応じた再配分や、客観・共通指標による実績状況の評価に基づく傾斜配分の仕組みが導入されました。

さらに、第4期中期目標期間（2022～2027年度）に向けて、国立大学は、それぞれ自らのミッションに基づいて、これまで以上に自律的・戦略的な経営を進め、多種多様な課題一つ一つに対応し、社会変革や地域の課題解決を主導していくことが求められています。

本学では、外部研究資金、その他の自己収入の増加に関する取組として、「外部資金獲得戦略」の方針の下に行った、国内外の競争的資金の動向等の調査・分析の結果を基に、外部資金獲得計画を作成しております。この計画を迅速に推進するために、産学連携の基盤となる制度を見直し、2021年度より共同研究における間接経費の制度を従来のアワーレート方式から間接経費30%へと変更するとともに、ネーミングライツ制度の導入及び寄附募集手段の拡充を目的とした広島大学クラウドファンディングの更なる推進など、「外部資金獲得増大につながる制度変更や新たな資金獲得方策の開拓等」に取り組み、財源の多元化を進めるとともに、安定的な財務基盤の確立を目指しています。

本報告書を多くの方にご覧いただき、本学へ興味を持っていただくきっかけとなり、また、本学への理解の一助となれば幸いです。

理事（財務・総務担当）
俵 幸嗣



大学案内



『大学案内2021-2022』
建学の精神「自由で平和な一つの大学」を体現する広島大学。総合研究大学として国内屈指のスケールを誇ります。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/kohoshi/daigakuannai

学び



『広島大学で何が学べるか 2022』
広島大学でWhyを考えよう
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/yoko_doga/pamphlet

歩み



『創立70周年記念写真集 広島大学の70年』
広島大学は、総合研究大学として歴史ある知的文化を継承・創造し続けています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/about/history>

SDGs



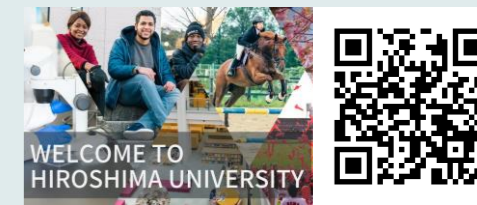
SDGs報告書『NERPS Report 2018-2019』 ※2021年12月最新版発行予定
報告書では、SDGsの観点から、本学の特色ある教育、研究、社会貢献、大学運営に関して取組・実績を報告しています。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/55772>

TOPICS



『HU-plus』
広島大学の教育研究活動、社会貢献活動など「今」の姿を掲載しています。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/kohoshi/hu_plus

PR



広島大学、広島ってどんなところ？
2021年1月、新しいPR動画が完成しました。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/62804>

SNS



最新ニュースや日々のできごと、キャンパス風景など、広島大学のトピックスを発信しています。また、YouTubeでは、広島大学の紹介や広大学生のキャンパスライフなどを動画で配信しています。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/sns/sns_list

校友会



広島大学校友会は、広島大学の学生、職員、同窓生、元教職員その他広島大学に深い関わりのある個人および団体を校友とし、校友で構成するコミュニティの育成および発展を図ることを目的としております。
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai>

広大グッズ



オフィシャルグッズは広島大学の生協で、マスコットキャラクターグッズ、カーポラグッズは広報グループ等で購入が可能です。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/goods

財務報告書 2021



対象期間：2020年4月1日～2021年3月31日
(一部前後の実績等を含んでいます)
国立大学法人広島大学 財務・総務室
〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2
zaimukikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

100年後にも世界で光り輝く大学へ

UNIVERSITY OF WORLD-WIDE REPUTE AND SPLENDOR
FOR YEARS INTO THE FUTURE



広島大学財務報告書2021

発行 国立大学法人広島大学財務・総務室
所在地 〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-3-2
TEL 082-424-6063
Mail zaimukikaku@office.hiroshima-u.ac.jp

